

第4章

地域別まちづくり構想

身近な生活圏である小学校区を単位としたまちづくりの考え方を示しています。地域別にまちづくり懇談会を開催し、行政と地域の協働によるまちづくりや地域住民主体のまちづくりの構想について検討しました。

1. 地域別まちづくり構想の位置づけ
2. 地域別まちづくり構想の進め方
3. 地域別まちづくり構想
 - 3-1. 金勝地域
 - 3-2. 葉山地域
 - 3-3. 葉山東地域
 - 3-4. 治田地域
 - 3-5. 治田東地域
 - 3-6. 治田西地域
 - 3-7. 大宝地域
 - 3-8. 大宝東地域
 - 3-9. 大宝西地域

1. 地域別まちづくり構想の位置付け

- ・「地域別まちづくり構想」とは、行政と地域住民の皆さんが連携・協働してまちづくりを進めていく際の指針となるものであり、「まちづくりのテーマ」、「まちづくりの目標・方針・具体的な取組」を取りまとめたものです。
- ・本計画の策定にあたり、前回の地域別まちづくり構想を基本としつつ、小学生や中学生、地域住民の方々へのアンケート調査等により、意見を広く頂くとともに、市内9学区ごとに、まちづくり懇談会を開催しました。
※地域別まちづくり懇談会は、平成30年12月～令和元年8月に各地域で意見交換を実施し、取りまとめを行ったものとなります。
- ・まちづくり懇談会ではワークショップ方式を採用し、参加者がグループに分かれて、地域の実情の変化やこれまでのまちづくり活動を確認、共有するとともに、地域の魅力や暮らしやすさを高めるために必要な取組についてご意見をいただきました。
- ・今回の地域別まちづくり構想では、取組を推進する主体を明確にするとともに、「地域が重要だと思う取組」や「地域が思う短期的取組」など、取組を短・中長期的な視点においても整理を行いました。また、行政と地域住民の皆さんがより連携・協働してまちづくりを進めていくため、各具体的な取組を推進する窓口を明確化しています。

- ・ **行政** : 主に行政が取り組むこと **協働** : 行政と地域が協働で取り組むこと
- ・ **地域** : 主に地域が取り組むこと
- ・ **★** : 地域が重要だと思う取組 ・ 短期の取組 : 地域が思う短期的な取組
- ・ **[]** : 関係課

- ・「地域別まちづくり構想」は、今すぐ実現していく必要があるものや中長期的な視点を持って取り組んでいくものもあり、各地域における取組の重要性や地域からの要望などを総合的に判断し、行政と地域がともに進めていくものとなります。
- ・今後、地域ぐるみでまちづくり活動に取り組む際には、「地域別まちづくり構想」を共通の目標像として、行政と地域が積極的に活用することが望まれます。

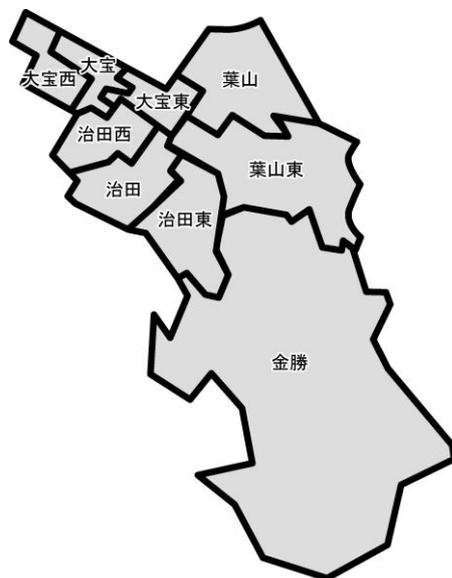


図 地域区分図



2. 地域別まちづくり構想の進め方

各地域のまちづくりを計画的かつ着実に進めていくために、「地域別まちづくり構想」をもとに、行政、地域、団体、事業者などの各主体が協働してまちづくりを進めるとともに、進行管理の仕組みづくりに取り組みます。

(1) 協働のまちづくりの進め方

■行政

- ・「地域別まちづくり構想」にある「主に行政が取り組むこと」については、市の財政状況、国や県の施策や事業等を勘案しながら行政が計画的に進めていきます。
- ・「地域別まちづくり構想」にある「行政と地域が協働で取り組むこと」、「主に地域が取り組むこと」については、協働のまちづくりの視点から、各関係課を中心に市民からのまちづくりに関する相談への対応を行います。
- ・「地域別まちづくり構想」の実現に向け、各関係課においては所管する施策や事業について、「地域別まちづくり構想」の各具体的な取組と連携して進めるとともに、必要に応じて総合計画や各関係課が所管する関連計画に位置付けるなど、計画的に推進していきます。
- ・地域のまちづくり活動のさらなる推進に向けて、必要に応じて適宜、まちづくりに関する制度や仕組みを庁内で検討します。

■地域

- ・「地域別まちづくり構想」をもとに、地域（地域振興協議会、自治会、コミュニティセンターなど）が中心となって、「まちづくり推進補助金」、「栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金（元気創造まちづくり事業）」等の活用により、地域主体のまちづくりを進めます。
- ・各地域において、地域の目指す将来像の実現に向け、「地域別まちづくり構想」と整合を図りながら、学区要望の検討やまちづくりの実践に取り組みます。

(2) 進行管理の仕組みづくり

■行政

- ・「地域別まちづくり構想」の進捗状況について、毎年、各関係課で確認を行い、庁内会議等で共有します。
- ・各関係課においては、「主に行政が取り組むこと」、「行政と地域が協働で取り組むこと」について、進捗状況の把握に加え、進捗が進んでいない取組や事業の要因等の整理を行い、次年度以降にどのように進めていくのかについて検討します。
また、予算検討の際には、「地域別まちづくり構想」の内容を確認しながら進めます。
- ・都市計画マスタープランの計画期間の中間期（5年目）には、全体構想とともに「地域別まちづくり構想」の進捗状況について、中間評価・検証を行い、目標年次に向けて、進め方の改善・見直しを行います。

■地域

- ・各地域の「地域別まちづくり構想」の進捗状況について、各地域で「取り組めたこと」、「取り組めなかったこと」について、適宜、確認・共有を行います。

3. 地域別まちづくり構想

3-1. 金勝地域

①金勝地域の概要

1. 位置・面積

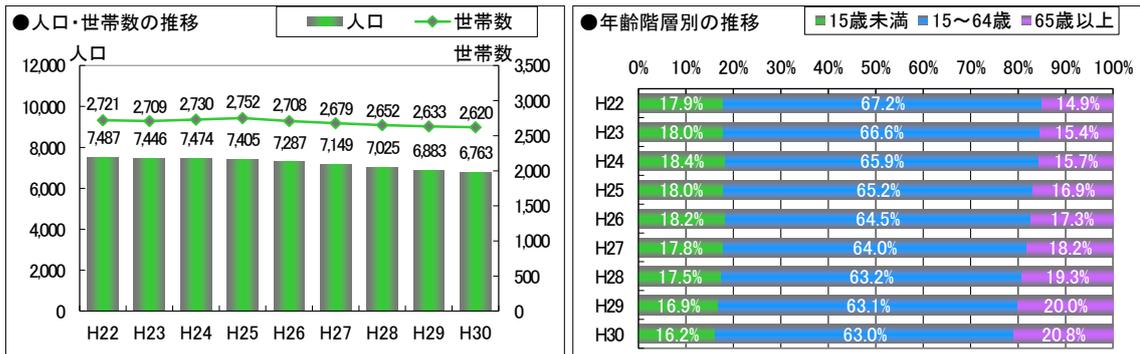
- ・金勝地域は、本市の南部に位置し、面積は 2,886.3ha で本市全体の 55.1%を占める最も大きな地域です。
- ・地域の北部は、JRA栗東トレーニング・センターを中心にまとまりのある市街地が形成されています。
- ・地域の南部は、金勝連峰から広がる緑豊かな丘陵地となっており、野外活動施設や観光施設が多く立地し、本市におけるレクリエーション拠点地域となっています。



自然資源	白糸の滝、九品の滝
歴史資源	金勝寺、大野神社、阿弥陀寺、春日神社、成谷寺、狛坂磨崖仏、龍王古墳
施設	JRA栗東トレーニング・センター、平谷球場、こんぜの里バンガロー村、自然活用総合管理棟（道の駅こんぜの里りっとう）、自然体験学習センター（こんぜの里森の未来館）、金勝駐在所、森林体験交流センター（こんぜの里森遊館）、金勝山県民の森（滋賀日産リーフの森）、金勝小学校、金勝第1幼稚園（保育園、幼稚園）、金勝第2保育園、金勝児童館（地域子育て支援センター金勝）、金勝学童保育所、コミュニティセンター金勝、湖南広域消防局中消防署出張所、農業技術振興センター栽培研究所 花・果樹研究所、農林業技術センター、滋賀県工業技術総合センター、金勝郵便局

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の金勝地域の人口は、6,763 人、世帯数 2,620 世帯です。
- ・人口は平成 24 年以降一貫して減少傾向となり、世帯数は平成 25 年以降減少傾向となっています。
- ・年齢別の人口比率は 15 歳未満が 16.2%、15～64 歳が 63.0%、65 歳以上が 20.8%となっています。



3. 地域特性

- ・金勝地域は、ほとんどが市街化調整区域であるため、人口の受け皿となる住宅開発が難しく、また、旧集落に空家はあるものの市場に流通していないものが多く、若い世代の地域外への移り住み、高齢化や人口減少が深刻化しています。
- ・バスの本数が少ないなど、医療や福祉、買い物等の日常生活に必要なサービス施設へのアクセスが不便であるため、地域内の生活サービスの向上や公共交通の充実が求められています。
- ・農林業の担い手の減少や第1次産業の衰退、有害鳥獣による農産物への被害、耕作放棄地や放置林の管理問題などを踏まえ、農林業や産業の活性化が求められています。
- ・観光施設や野外活動施設の老朽化等により地域資源が十分に活かされていないことから、観光やレクリエーション施設の再整備、魅力を高める取組が求められています。

②金勝地域の方針

■まちづくりのテーマ

『緑と歴史と人にふれあう里山こんぜ』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. いつまでも住み続けられる安全・安心な環境づくり

方針1-1：人口の受け皿や住み続けられる居住環境づくり

- 行政** ・都市機能の集約化による地域の拠点づくり **【都市計画課】**
- 協働** ・既存集落を維持するための住宅地等の適正な開発の誘導（地区計画、都市計画法34条11号・12号の指定等） **【都市計画課、住宅課】**
[上砥山地区、御園中村地区、御園八王寺地区、御園谷出地区]
- 協働** ・既存集落の空家を活用した子育て世代や営農希望者等への空家の活用やリノベーションによる移住や定住の促進 **【住宅課、農林課】**

方針1-2：円滑な交通や安全な生活道路に向けた整備

- 行政** ・生活サービスや市内外へアクセスしやすいバスネットワークの促進、意向調査の実施 **【交通政策課】**
- 行政** ・(都)山手幹線、(都)野洲川幹線、(都)山寺辻越線、(都)下笠下砥山線などの幹線道路の整備推進 **【国・県事業対策課、道路・河川課】**
- 行政** ・(主)栗東信楽線の改良 **【国・県事業対策課】**
- 協働** ・拡幅整備、カーブミラーの設置等による生活道路の安全性の確保 **【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】**

方針1-3：自然との共生による安全・安心な生活環境づくり

- 行政** ・防除と駆除を組み合わせた取組や広域連携への支援、他市事例の活用による鳥獣対策の広域的な連携 **【農林課】**
- 行政** ・土砂災害等の自然災害への対応 **【危機管理課、農林課】**
- 行政** ・河川、水路等の水害対策と対応 **【危機管理課、土木管理課】**
- 協働** ・所有者、森林組合、地域コミュニティ等の連携による森林の手入れ、森林環境譲与税の活用による放置林の管理などの森林の適切な維持管理 **【農林課】**
- 協働** ・地域での美化活動やボランティア、河川愛護事業補助金による支援等による美化活動や不法投棄防止の促進 **【環境政策課、土木管理課】**

目標2. 産業の担い手づくりや産業振興の活性化

方針2-1：農林業の担い手への支援や受け入れ環境づくり

- 行政** ・施設の管理体制強化、畑地灌漑施設劣化対策等による農地や農業水利施設等の保全 **【農林課】**
- 協働** ・人・農地プランや農業次世代人材投資資金事業による担い手の確保や育成 **【農林課】**
- 協働** ・清水を活用したニゴロブナ、自然豊かな山間農地による山菜生産振興、施設園芸による栗東いちじくの生産振興などの地域の特長を活かした特産の育成 **【農林課】**
- 協働** ・農家レストラン、農業体験、農福連携による自然環境を活かした都市農村交流による地域活性化 **【農林課、障がい福祉課】**

方針2-2：生産性の向上や経営の多角化による産業の活性化

- 協働** ・生産性の向上と経営の多角化による農業の六次産業化（一次産業（農業）×二次産業（加工）×三次産業（販売）を一体化し、付加価値を高める仕組みづくり）

【農林課、商工観光労政課】

- 協働** ・大学との包括連携協定を活かした中山間地域における新たな事業モデルによる特産品の創出

【農林課、商工観光労政課】

- 協働** ・公共建築物等における地域産木材の利活用促進

【農林課】

- 協働** ・間伐材の活用による需要創出

【農林課】

- 協働** ・Jクレジット制度の活用による需要創出

【農林課】

- 地域** ・定期的な朝市開催による地産地消の取組の継続

【農林課】



こんぜ清流米・日本酒

目標3. 地域資源を活かした交流拠点や活力の創出

方針3-1：既存施設の再生、立地条件や「馬」を活かした交流拠点の形成

- 行政** ・「淡海、奥金勝の森」の整備、再生による魅力の創出

【農林課】

- 行政** ・平谷球場グラウンドの駐車場等への整備による有効活用

【農林課、スポーツ・文化振興課】

- 協働** ・JRA栗東トレーニング・センターと連携した乗馬体験や施設見学などの「馬」を身近に感じてもらえる取組の実施

【元気創造政策課、スポーツ・文化振興課】

- 協働** ・周辺都市の観光資源の活用による近隣の観光関連団体や自治体等との連携や交流機会の促進

【商工観光労政課】



JRA栗東トレーニング・センターの施設見学

方針3-2：森林や農業によるふれあいの場の確保や充実

- 協働** ・やまのこなどの小学生への自然体験学習、林業体験などのグリーンツーリズムの取組の推進

【農林課、生涯学習課】

- 協働** ・たんぼのこ等の市民農園、休耕地を活かしたイベントの実施

【農林課】

方針3-3：住民主体のまちづくり活動の継続や市内外への情報や魅力発信の充実

- 協働** ・コミュニティセンターを中心とした地域のまちづくり活動の継続や発展

【自治振興課】

- 協働** ・金勝寺あかりの演出等のイベントの継続

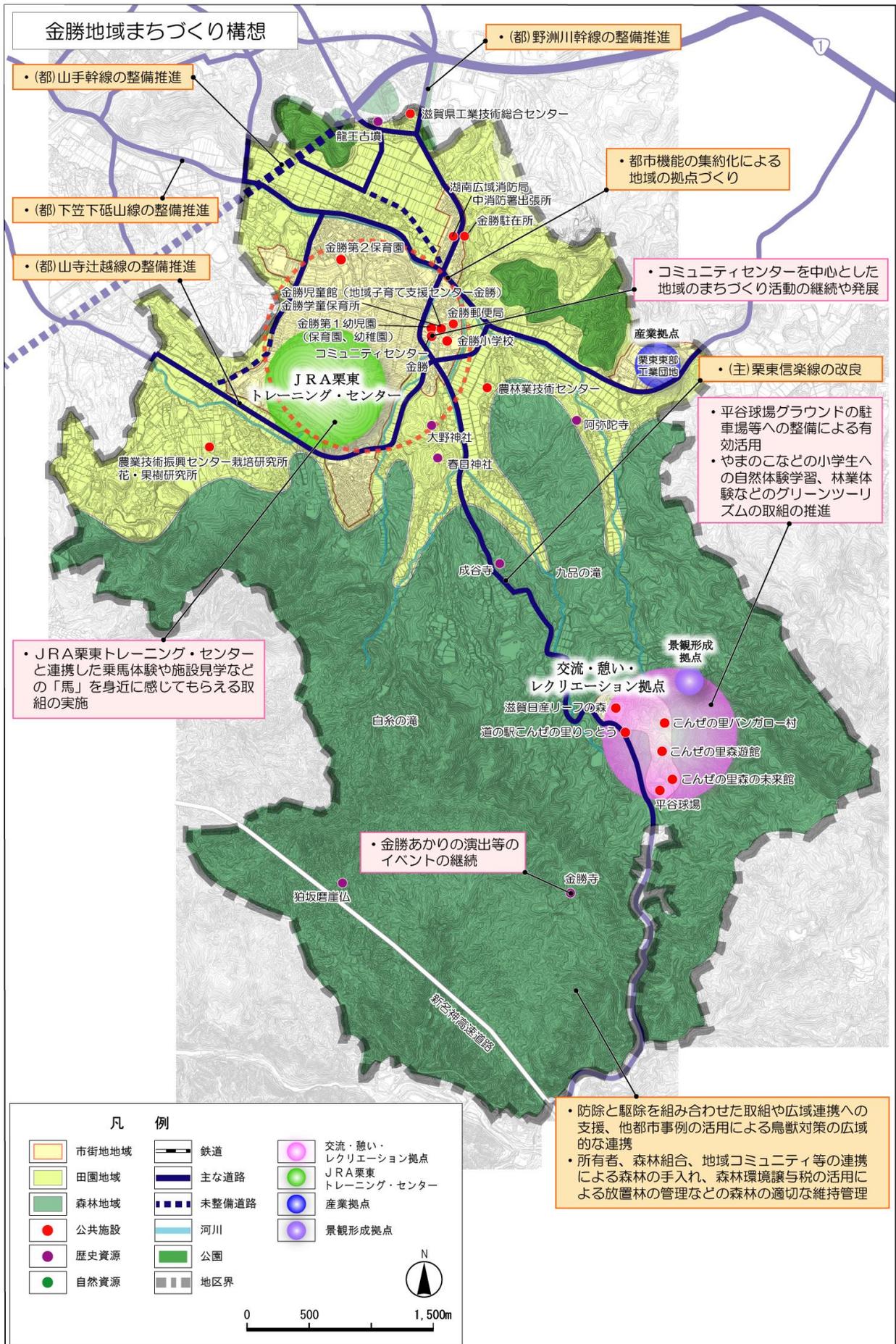
【商工観光労政課】

- 協働** ・地域住民主体のまちづくり活動や魅力の発信

【秘書広報課】



金勝寺あかりの演出



3-2. 葉山地域

①葉山地域の概要

1. 位置・面積

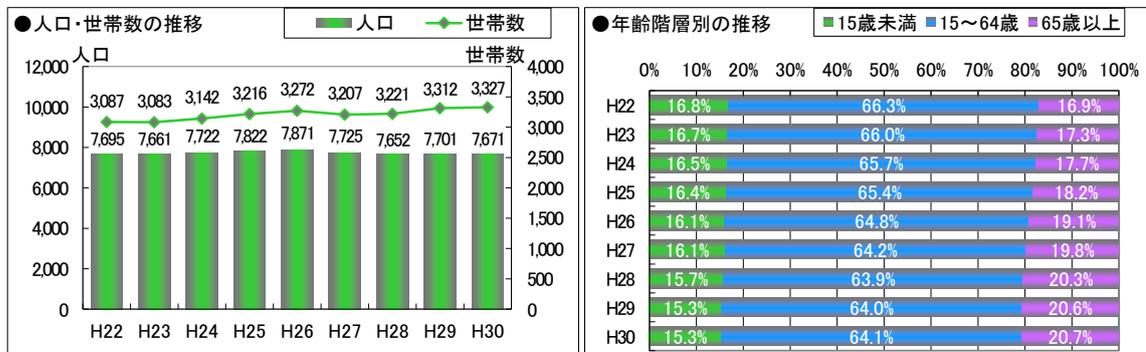
- ・葉山地域は、本市の北部に位置し、面積は 450.3ha で本市全体の 8.6%を占めています。
- ・葉山地域は、国道 1 号、8 号、新幹線が通過しており、国道沿いを中心に、工場や倉庫が多く立地しています。また、地域の北西部を中心に農地が広がっています。
- ・野洲川運動公園や高野公園など地域住民の憩いや交流の場となる施設があります。



歴史資源	高野神社、圓超寺、井口天神社
施設	済生会滋賀県病院、葉山地域包括支援センター、やすらぎの家、野洲川体育館、道の駅アグリの郷栗東、交通機動隊、栗東高野郵便局、葉山小学校、葉山幼稚園（保育園、幼稚園）、葉山学童保育所、コミュニティセンター葉山、葉山児童館、学校給食共同調理場

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の葉山地域の人口は、7,671 人、世帯数は 3,327 世帯です。
- ・人口と世帯数ともに小幅な増減はあるもののほぼ横ばいとなっています。
- ・年齢別の人口比率は 15 歳未満が 15.3%、15～64 歳が 64.1%、65 歳以上が 20.7%となっています。



3. 地域特性

- ・葉山地域は、国道 1 号、8 号等の幹線道路が通過し、広域的な交通利便性が高い反面、これらの道路が市街地や農地を分断しているため、地域間を繋ぐ道路網の整備やまとまった農地の保全など計画的な土地利用が求められています。
- ・野洲川運動公園は、身近に運動ができる地域の憩いの場となっていますが、アクセス性や利用条件の制約等があり、誰もが気軽に利用できる環境づくりが求められています。
- ・身近に自然やうるおいが感じられる河川や田園がありますが、近年ではごみの不法投棄や維持管理の問題があり、良好な生活環境づくりが求められています。
- ・葉山地域には、医療施設や福祉施設などの医療・健康・福祉拠点があり、誰もが利用できるよう、バスなどの公共交通により施設へのアクセス性を高めることが求められています。

②葉山地域の方針

■まちづくりのテーマ

『ふれあいぬくもり ワンダーランド 葉山』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 野洲川や田園のうるおいを守り、活かす地域づくり

方針1-1：野洲川の河川空間を活かした特色ある憩いの空間づくり

行政 ★野洲川運動公園へのアクセス性の向上

【都市計画課、道路・河川課、交通政策課】

協働 ・野洲川沿いを散策したり休憩できるなど、緑と水辺を楽しむことができる環境づくり

【都市計画課、国・県事業対策課、スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・野洲川の清掃活動を通じた親しみづくりを行い、管理体制も整備する。
・休憩できるイスの設置。



野洲川運動公園

協働 ★野洲川運動公園のスポーツ施設の活用促進、利用しやすい施設の運営

【スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・出来ること、出来ないことなどの利用方法の周知。
・施設利用料の検討。

地域 ・スポーツ施設や緑地空間を活用した市民の交流事業等の促進 【スポーツ・文化振興課】

方針1-2：自然を活かした身近な憩いの空間づくり

行政 ・生き物が生息できる河川への改修

【土木管理課、道路・河川課】

協働 ・河川へのごみ投棄の防止、環境美化活動の促進

【土木管理課、環境政策課】

短期の取組：・学生への呼び掛けによる、ボランティア活動参加の促進。

地域 ・ツツジ、アヤメ、アジサイ等の花植え活動の継続

【都市計画課、自治振興課】

地域 ・鯉などによる河川浄化や生き物調査の取組

【環境政策課、自治振興課】

地域 ・ホテルの観察会の実施、地域の自然環境の情報発信

【環境政策課、自治振興課】

方針1-3：田園環境の保全、うるおいが感じられる生活環境づくり

協働 ★まとまった農地や田園風景の保全、無秩序な開発の防止

【農林課、住宅課、都市計画課】

短期の取組：・無秩序な開発を防ぐルールを検討。
・農業の担い手づくり。

協働 ・街区公園等、身近な公園の充実

【都市計画課】

短期の取組：・無料で利用できる憩いの場づくり。

協働 ・地区計画制度の活用等による暮らしやすい居住環境の創出

【都市計画課】

目標 2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針 2-1：交通混雑解消に向けた道路網の整備

- 行政** ★(都)逢坂山三雲線(国道1号)、(都)野洲栗東線(国道8号バイパス)、(都)野洲川幹線、(都)片岡栗東線、(都)下鉤出庭線、(都)出庭林線、(都)宅屋立入線の整備推進 **【道路・河川課、国・県事業対策課】**

方針 2-2：既成市街地や集落内の安全・安心、暮らしやすい環境の向上

- 行政** ・中ノ井川ショートカット事業の推進 **【国・県事業対策課】**

- 行政** ★利用しやすいバスネットワークの促進 **【交通政策課】**

- 協働** ★生活道路の速度制限等の安全な道路空間の確保 **【土木管理課、交通政策課】**

短期の取組：・地域での速度制限等のルールづくり。

- 協働** ★カーブミラーや隅切りの整備、狭隘道路の拡幅など生活道路の改善 **【土木管理課、交通政策課】**

短期の取組：・自治会への狭隘道路拡幅整備に関する制度の周知や制度活用の促進。

- 協働** ・歩道のバリアフリー化、歩行者用信号、街灯等の歩きやすい環境づくり **【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】**

- 協働** ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応 **【住宅課】**

- 地域** ★危険な箇所把握や防災マップづくりなど、地域ぐるみの防災や防犯活動の促進 **【危機管理課】**

短期の取組：・地域での避難ルートの検討(ハザードマップの活用、要支援者の避難方法)。
・警察との連携によるパトロールの実施。

目標 3. 施設集積や特性を活かした利便性の高い拠点づくり

方針 3-1：全市レベルの医療・健康・福祉拠点の形成

- 行政** ・医療健康福祉関連施設の維持や充実、誰もが安全で快適に利用できる環境づくり **【健康増進課、長寿福祉課】**

- 行政** ★済生会滋賀県病院、やすらぎの家周辺へのアクセス道路の充実

【道路・河川課、都市計画課、健康増進課、長寿福祉課】



方針 3-2：住民主体のまちづくりを促進する拠点の形成、施設の活用

- 協働** ★コミュニティセンターなど利用しやすい施設の運営 **【自治振興課】**

短期の取組：・地域が利用しやすい運営の検討。
・コミセンの建物の改修、照明のLED化。
・多様な世代が集える機会づくり。

- 協働** ★アグリ郷栗東の利活用、観光交流の促進、地産地消の取組の促進 **【農林課、商工観光労政課】**

- 地域** ・地域の歴史や伝統を学ぶ交流事業の推進 **【生涯学習課、スポーツ・文化振興課】**

- 地域** ・地域の多様な世代のまちづくり活動による交流できる機会の促進 **【自治振興課】**

短期の取組：・高齢の方が中心にサロンを使っている。若い世代を巻き込む。

- 地域** ・日本語ボランティア活動など外国人との交流、受け入れ促進 **【自治振興課】**



葉山地域まちづくり構想図

- ・(都)野洲東線(国道8号バイパス)の整備推進
- ・(都)出庭林線の整備推進
- ・まとまった農地や田園風景の保全、無秩序な開発の防止

・アグリコムの利活用、観光交流の促進、地産地消の取組の促進

- ・(都)片岡東線線の整備推進
- ・(都)下鉤出庭線の整備推進

- ・野洲川運動公園へのアクセス性の向上
- ・野洲川沿いを散策したり休憩できるなど、緑と水辺を楽しむことができる環境づくり
- ・野洲川運動公園のスポーツ施設の活用促進、利用しやすい施設の運営
- ・スポーツ施設や緑地空間を活用した市民の交流事業等の促進

・コミュニティセンターなど利用しやすい施設の運営

・(都)逢坂山三雲線(国道1号)の整備推進

・(都)野洲川幹線の整備推進

・中ノ井川ショートカット事業の推進

3-3. 葉山東地域

①葉山東地域の概要

1. 位置・面積

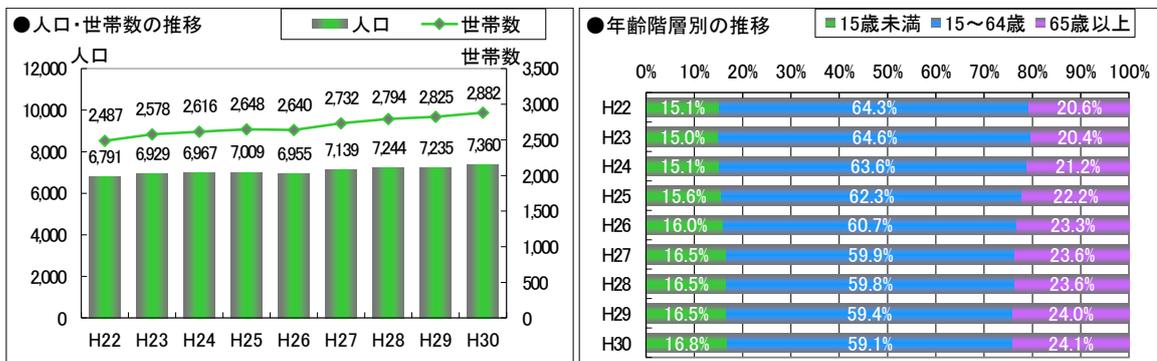
- ・葉山東地域は、本市の東部に位置し、面積は 671.5ha で本市全体の 12.8%を占め、金勝地域に次ぐ大きさです。
- ・国道 1 号が地域北部を通過するほか、草津線手原駅、名神高速道路栗東インターチェンジがあります。
- ・地域には東海道が通っており、東海道沿道には伝統的な建物が残っています。
- ・公共施設も多く、教育・文化施設が多く立地しています。



歴史資源	東海道、日向山古墳、新善光寺、稲荷神社、万年寺、福正寺石造多層塔、大角家住宅・旧和中散本舗、川崎睦男家住宅、川崎光雄家住宅、里内家住宅
施設	手原駅、栗東市商工会館、環境センター、シルバーワークプラザ、栗東図書館、栗東歴史民俗博物館、高速道路交通警察隊、手原駅前交番、栗東高校、国際情報高校、葉山中学校、葉山東小学校、葉山東幼稚園（保育園、幼稚園）、葉山東学童保育所、コミュニティセンター葉山東、葉山東児童館、市民交流施設、栗東観光案内所

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の葉山東地域の人口は、7,360 人、世帯数は 2,882 世帯です。
- ・人口は、小幅な波があるものの、緩やかな増加傾向となり、世帯数は平成 26 年以降、増加傾向となっています。
- ・年齢別の人口比率は、15 歳未満が 16.8%、15～64 歳が 59.1%、65 歳以上が 24.1%となっており、15 歳未満は緩やかな増加傾向となっています。



3. 地域特性

- ・東海道は、伝統的な建築物が比較的多く残っていますが、建て替え等により歴史的な街並みが失われつつあり、伝統的な建築物の保全や活用が求められています。また、車の通過交通が多いことや休憩できる施設も少ないことから、地域住民や観光客が安全に散策できる歩行空間の確保や憩いの場となる休憩施設などが求められています。
- ・近年では空家の増加に伴い地域活力が低下していることから、手原駅周辺的生活文化拠点を中心として生活サービスや交通アクセスの充実など、暮らしやすい居住環境が求められています。
- ・農地や河川、山など自然が多く、自然環境の保全や維持管理が求められています。
- ・地域住民や観光客との交流や憩いの場となる栗東健康運動公園の整備が求められています。

②葉山東地域の方針

■まちづくりのテーマ

『緑あふれるまちなみに ハート 葉東に響くやすらぎ・健康のみち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 東海道を楽しく散策できるまちづくり

方針1-1：東海道の歴史が感じられるまちなみづくり

行政 ★東海道の歴史的環境に配慮した公共施設の整備

【都市計画課】

行政 ・東海道沿道の民間建築物等のデザインの規制や誘導

【都市計画課】

協働 ・東海道沿道における歴史的な建築物の保全や活用

【都市計画課、住宅課、スポーツ・文化振興課】

地域 ・まち歩き等の実践や学習を通じたまちづくりの機運づくり

【自治振興課、都市計画課、商工観光労政課、生涯学習課】



方針1-2：地域資源の魅力向上や活用による交流促進、地域の活性化

協働 ★手原駅、旧和中散本舗、新善光寺、日向山、葉山川を結ぶルートづくりなど散策を楽しめる環境づくり

【商工観光労政課】

協働 ★公共施設や空家の活用による地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり

【住宅課、商工観光労政課、土木管理課、スポーツ・文化振興課、自治振興課、都市計画課】

短期の取組：・トイレの整備（コミセン、公園、寺など）。
・休憩所の設置。土日の休憩所の開放。休憩所の管理体制の整備。
・旧和中散本舗裏の空き地（市所有）の活用。

協働 ・東海道沿道の住民によるまちづくり活動の普及

【都市計画課、商工観光労政課、自治振興課、スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・看板や案内板の設置。看板の色の統一。
・パンフレット等の設置。

協働 ・観光資源への観光客の誘導促進

【商工観光労政課、スポーツ・文化振興課】

協働 ・稻荷神社、萬年寺、肩かえの松など地域資源の魅力向上

【スポーツ・文化振興課、商工観光労政課、都市計画課】

目標2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針2-1：居住環境、東海道の散策環境を守る幹線道路網の整備

行政 ・(都)山手幹線、(都)野洲川幹線、草津線北側道路の整備推進

【国・県事業対策課、道路・河川課】

方針2-2：安全・安心で住み続けたい生活環境づくり

行政 ★手原駅へのアクセスの向上、駅周辺の駐車場整備や商業の活性化

【交通政策課、商工観光労政課】

行政 ・草津線の利便性の向上

【交通政策課】

行政 ★住民ニーズに応じたバスネットワークの充実

【交通政策課】

行政 ・災害に備えた安全な避難場所の確保や充実

【危機管理課】

協働 ★狭隘道路の拡幅、隅切り、カーブミラーの整備など生活道路の改善
【土木管理課、交通政策課】

協働 ・歩道のバリアフリー化、街路樹、歩行者用信号、街灯等の歩きやすい環境づくり
【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

協働 ・通過交通抑制のための時間帯での一方通行化などの推進
【交通政策課】
短期の取組：・時間帯での通行規制。

協働 ・生活道路や通学路、高齢者のウォーキングロードなど安全な道路空間の確保
【土木管理課、交通政策課、道路・河川課、教育総務課、健康増進課】
短期の取組：・路肩のカラー舗装など、歩行者の通行の確保。

協働 ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応
【住宅課】
短期の取組：・危険な空家の除却。
・宅建業者との連携による空家情報バンクの設置。

地域 ・地域ぐるみの防災や防犯活動の促進
【危機管理課】

方針2-3：住民主体のまちづくり活動を通じた交流の活性化

協働 ・協働によるまちづくり活動の実践、自治会やまちづくり活動団体の取組の情報発信や共有
【自治振興課、秘書広報課】

地域 ・人材バンクの創設、まちづくり活動団体間のネットワークの形成
【自治振興課】

目標3. 美しい田園風景の保全、うるおいが感じられる生活環境づくり

方針3-1：田園環境の保全、うるおいが感じられる生活環境の実現

行政 ・東部地区まちづくり総合整備計画の推進
【商工観光労政課】

行政 ・幹線道路の街路樹整備
【道路・河川課】

協働 ★栗東健康運動公園の整備、周辺地域には見られない魅力的な施設の整備
【元氣創造政策課】

短期の取組：・魅力的な施設を作るための住民ニーズを伝える場づくり。
・栗東健康運動公園整備の方向性や方針をみんなで決める。子育て世代や子どもからの意見の募集。

協働 ・地区計画等を活用した既存集落の維持
【都市計画課、住宅課】

協働 ・野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全
【農林課】

協働 ・田舎の元気やの利活用、観光交流や地産地消の取組の促進
短期の取組：・農業まつりの継続。
【商工観光労政課、自治振興課】

地域 ・日向山の清掃などの市民活動の継続
【農林課、商工観光労政課】

方針3-2：身近な河川環境を活かした憩いの空間づくり

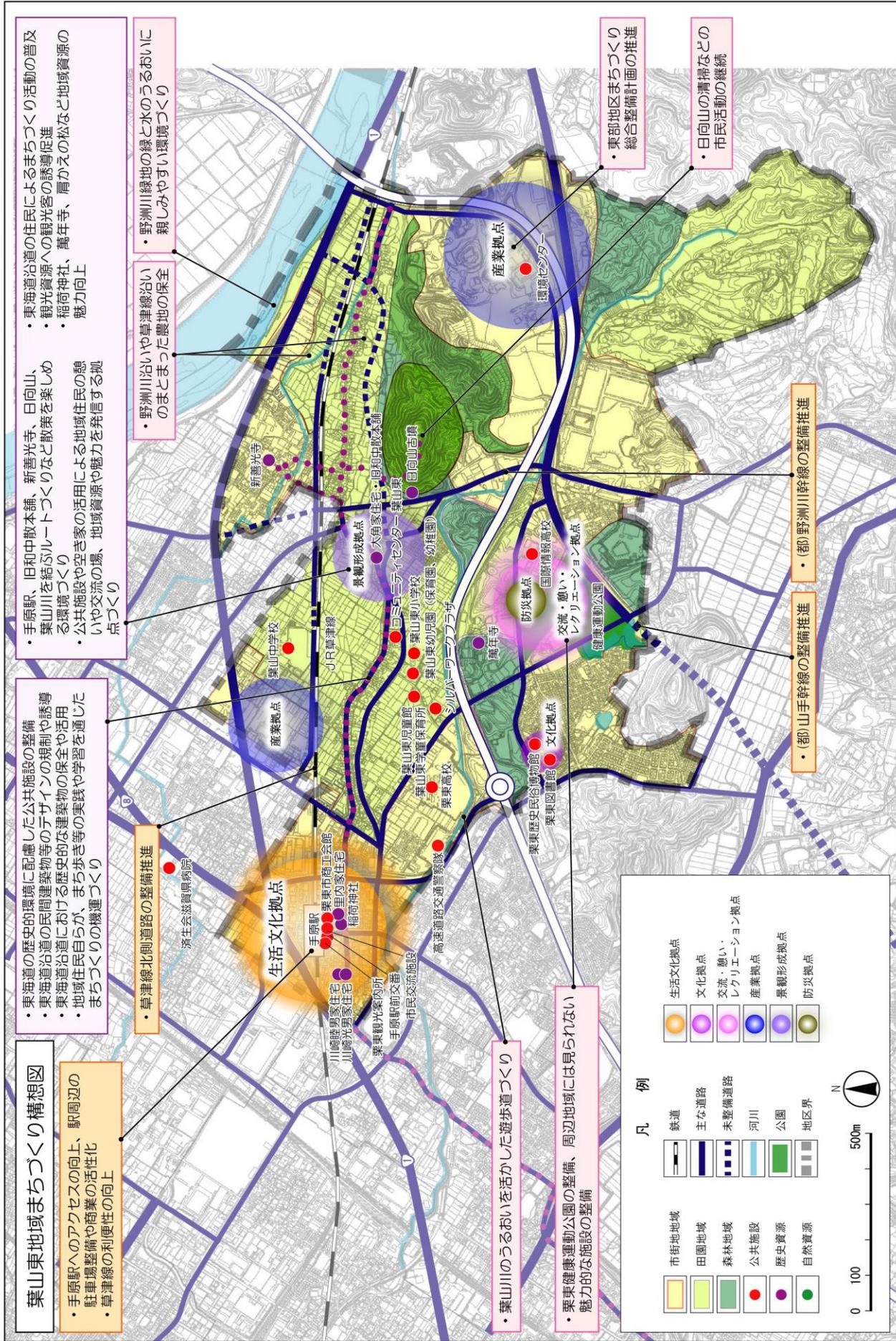
協働 ・野洲川緑地の緑と水のうるおいに親しみやすい環境づくり
【都市計画課、国・県事業対策事業課】

協働 ★葉山川のうるおいを活かした遊歩道づくり
【道路・河川課、スポーツ・文化振興課、教育総務課】
短期の取組：・葉山川沿道の通学路やマラソンコースとしての活用。

協働 ★旧RD最終処分場の跡地利用
【環境政策課】

協働 ・自治会によるまちづくりの一環として、ホテルが住む環境の保全活動
短期の取組：・資金だけではなく、人員や管理へのサポート。
【環境政策課、自治振興課】

地域 ・河川の清掃活動やごみ投棄の防止、身近な緑化活動などの市民活動の促進
短期の取組：・葉山川清掃の継続。
【環境政策課、都市計画課】



葉山東地域まちづくり構想図

- 手原駅へのアクセスの向上、駅周辺の駐車場整備や商業の活性化
- 草津線の利便性の向上

- 東海道の歴史的環境に配慮した公共施設の整備
- 東海道沿道の民間建築物等のデザイン規制や誘導
- 東海道沿道における歴史的な建築物の保全や活用
- 地域住民自らが、まち歩き等の実践や学習を通じたまちづくりの機運づくり

- 手原駅、旧和歌本舗、新善光寺、日向山、葉山川を結ぶルートづくりなど散策を楽しむ環境づくり
- 公共施設や空き家の活用による地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり

- 東海道沿道の住民によるまちづくり活動の普及
- 観光資源への観光客の誘導促進
- 稲荷神社、萬年寺、肩かえの松など地域資源の魅力向上

生活文化拠点

- 済生会滋賀県病院
- 手原駅
- 栗東市商工会館
- 里内家住宅
- 稲荷神社
- 川崎縣県家住宅
- 川崎光家住宅
- 栗東観光案内所
- 手原駅前交番
- 市民交流施設
- 高き道道路交通警備隊

産業拠点

- 新善光寺
- 葉山中学校
- JR草津線
- 景観形成拠点
- 大島逐住宅・旧和歌本舗
- 日向山古墳
- 栗山東京重機
- 栗山東小学校
- 栗山東保育園
- 栗山東児童園(保育園、幼稚園)
- 栗東高校
- シムルパークアクラフ

産業拠点

- 環境センター
- 栗東歴史民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点
- 栗東市民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点
- 栗東歴史民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点

産業拠点

- 防犯拠点
- 国際情報高校
- 交流・憩い・レクリエーション拠点
- 健康運動公園
- 萬年寺

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅前交番
- 市民交流施設
- 高き道道路交通警備隊

産業拠点

- 栗東歴史民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点
- 栗東市民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点

産業拠点

- 防犯拠点
- 国際情報高校
- 交流・憩い・レクリエーション拠点
- 健康運動公園
- 萬年寺

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅、旧和歌本舗、新善光寺、日向山、葉山川を結ぶルートづくりなど散策を楽しむ環境づくり
- 公共施設や空き家の活用による地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅前交番
- 市民交流施設
- 高き道道路交通警備隊

産業拠点

- 栗東歴史民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点
- 栗東市民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点

産業拠点

- 防犯拠点
- 国際情報高校
- 交流・憩い・レクリエーション拠点
- 健康運動公園
- 萬年寺

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅、旧和歌本舗、新善光寺、日向山、葉山川を結ぶルートづくりなど散策を楽しむ環境づくり
- 公共施設や空き家の活用による地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅前交番
- 市民交流施設
- 高き道道路交通警備隊

産業拠点

- 栗東歴史民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点
- 栗東市民俗博物館
- 栗東図書館
- 文化拠点

産業拠点

- 防犯拠点
- 国際情報高校
- 交流・憩い・レクリエーション拠点
- 健康運動公園
- 萬年寺

産業拠点

- 東部地区まちづくり総合整備計画の推進
- 日向山の清掃などの市民活動の継続

産業拠点

- 野洲川緑地の緑と水のつるおりに親しみやすい環境づくり
- 野洲川沿いや草津線沿いのまとまった農地の保全

産業拠点

- 手原駅、旧和歌本舗、新善光寺、日向山、葉山川を結ぶルートづくりなど散策を楽しむ環境づくり
- 公共施設や空き家の活用による地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり

凡例

	鉄道		生活文化拠点
	主な道路		文化拠点
	未整備道路		交流・憩い・レクリエーション拠点
	河川		産業拠点
	公園		景観形成拠点
	地区界		防災拠点
	市街地地域		
	田園地域		
	森林地域		
	公共施設		
	歴史資源		
	自然資源		

0 100 500m

N

栗東健康運動公園の整備、周辺地域には見られない魅力的な施設の整備

葉山川のうるおいを活かした遊歩道づくり

3-4. 治田地域

①治田地域の概要

1. 位置・面積

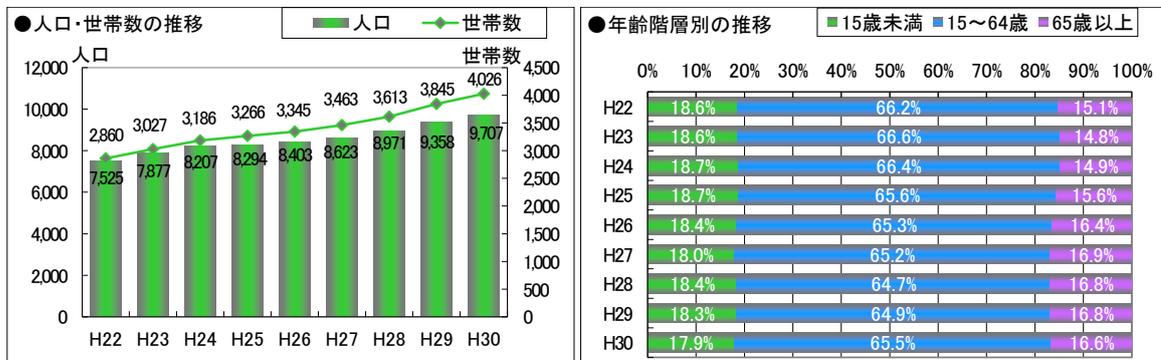
- ・ 治田地域は、本市の北西部に位置し、面積は 274.1ha で本市全体の 5.2%を占めています。
- ・ 国道 1 号が地域北部を通過し、隣接地域に草津駅、手原駅があり、交通の利便性が高い地域です。
- ・ 地域の概ね 8 割が計画的に市街化を進めるべき市街化区域に指定されており、金勝川より南側は、自然的環境の保全を図る市街化調整区域として、一団の農地が保全されています。



歴史資源	東海道、足利義尚公陣所跡、地山古墳、栗太郡衙跡岡遺跡
施設	県立栗東体育館、栗東市民体育館、栗東運動公園、県立聾話学校、治田小学校、治田幼稚園、治田保育園、治田学童保育所、コミュニティセンター治田、治田児童館、治田郵便局

2. 人口・世帯数

- ・ 平成 30 年の治田地域の人口は 9,707 人、世帯数は 4,026 世帯です。
- ・ 人口・世帯数ともに増加傾向となっており、近年では特に人口増加幅が大きくなっています。
- ・ 年齢別の人口比率は、15 歳未満が 17.9%、15～64 歳が 65.5%、65 歳以上が 16.6%となっており、ほぼ横ばいの推移となっています。



3. 地域特性

- ・ 東海道は、伝統的な建築物が比較的多く残っていますが、建て替え等により歴史的な街並みが失われつつあり、伝統的な建築物の保全や活用が求められています。また、車の通過交通が多いことや休憩できる施設も少ないことから、地域住民や観光客が安全に散策できる歩行空間の確保や憩いの場となる休憩施設などが求められています。
- ・ 「東海道ほっこりまつり」など東海道を活かした、住民主体のまちづくりの継続により、多様な世代のまちづくりの参画による地域活性化が求められています。
- ・ 近年では空家が増加し、地域の防犯や防災、景観、生活環境などに様々な影響を及ぼしており、空家の予防や利活用が求められています。
- ・ 葉山川や金勝川などの河川やまとまった農地を地域資源として捉え、河川沿道の散策、市民農園や農業体験などの自然環境の保全や維持管理、活用が求められています。

②治田地域の方針

■まちづくりのテーマ

『歴史と自然のある、 安全・安心で思いやりの心が通うまち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 歴史が薫るまちなみと住民の心が通うまちづくり

方針1-1：東海道の歴史が感じられるまちなみ景観づくり

協働 ・東海道沿道の民間建築物等のデザインの規制や誘導
【都市計画課】

短期の取組：・カーポートやアパートなどの良好な景観の誘導。
・住民を交えた景観のルールの話し合い。



協働 ★歩行者や自転車利用者への安全性の配慮、沿道建物と調和した東海道にふさわしい道路整備に向けた取組の継続
【道路・河川課、土木管理課、交通政策課】

短期の取組：・東海道のカラー舗装化に向けた取組の検討。
・通行の安全性の確保（車両の通行規制、通勤時の通過抑制）。

協働 ★東海道沿道の伝統的な建築物の保全や活用【都市計画課、住宅課、スポーツ・文化振興課】

協働 ・東海道らしいまとまりのある景観ルールづくりの検討と実践
【都市計画課】

協働 ★「東海道ほっこりまつり」の継続、東海道一円のウォーキング機会の検討
【都市計画課、商工観光労政課】

地域 ・地山古墳、栗太郡衙跡岡遺跡を含む歴史資源の活用
【スポーツ・文化振興課】

方針1-2：住民が主体となった地域資源の魅力向上や地域の交流促進

協働 ・地域住民の憩いや交流の場、地域資源や魅力を発信する拠点づくり
【自治振興課、商工観光労政課、住宅課】

短期の取組：・休憩所の設置。休憩所の管理体制の整備。
・住民同士の交流の場づくり。東海道沿道の空家の活用。

協働 ・案内看板やスタンプ等のデザインの統一に向けた取組の推進
【スポーツ・文化振興課】

地域 ・目川ひょうたんなど、地域住民自らが地域に伝わる歴史や文化を学び関心を高め、交流を促進する資源としての活用と実践
【スポーツ・文化振興課、商工観光労政課】

地域 ★子どもや若者も参加しやすい地域活動の促進
【自治振興課、学校教育課、生涯学習課】

目標2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針2-1：通過交通の流入抑制に向けた道路網の整備、計画的な土地利用の推進

- 行政** ★(都)山手幹線(国道1号バイパス)、(都)下笠下砥山線、(都)手原駅新屋敷線、(都)青地新田坊袋線の整備促進 【道路・河川課、国・県事業対策課】
- 行政** ・学校給食共同調理場跡地の有効活用の検討 【学校給食共同調理場】
- 協働** ・計画的に秩序ある市街地開発の推進 【都市計画課、住宅課】
- 短期の取組：・道路や公園の計画的な整備。

方針2-2：既成市街地の安全・安心、暮らしやすい環境の向上

- 行政** ・通学路の安全の確認、歩道のバリアフリー化、歩行者用信号、街灯等の歩きやすい環境づくり 【教育総務課、土木管理課、交通政策課、道路・河川課】
- 行政** ・利用しやすいバスネットワークの促進 【交通政策課】
- 協働** ・葉山川、金勝川の平地化促進と跡地活用の検討 【国・県事業対策課】
- 協働** ・用水路の暗渠化を含む狭隘道路の拡幅、隅切り、カーブミラーの整備、ハンプの設置など生活道路の改善 【土木管理課、交通政策課】
- 協働** ★一方通行化、速度制限、コミュニティ道路化など安全な道路空間の確保 【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

短期の取組：・ゾーン30などの速度制限に向けた取組の実施。
・道路幅の変更。
・生活道路の交通規制(時間帯による一方通行化)。

- 協働** ★空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応 【住宅課】
- 短期の取組：・東海道沿道の空家の予防や活用。
- 地域** ・地域ぐるみの防災や防犯活動の促進 【危機管理課】
- 地域** ・ごみのポイ捨てやペットの糞捨て防止など、生活環境の向上に向けた地域活動の促進 【環境政策課】

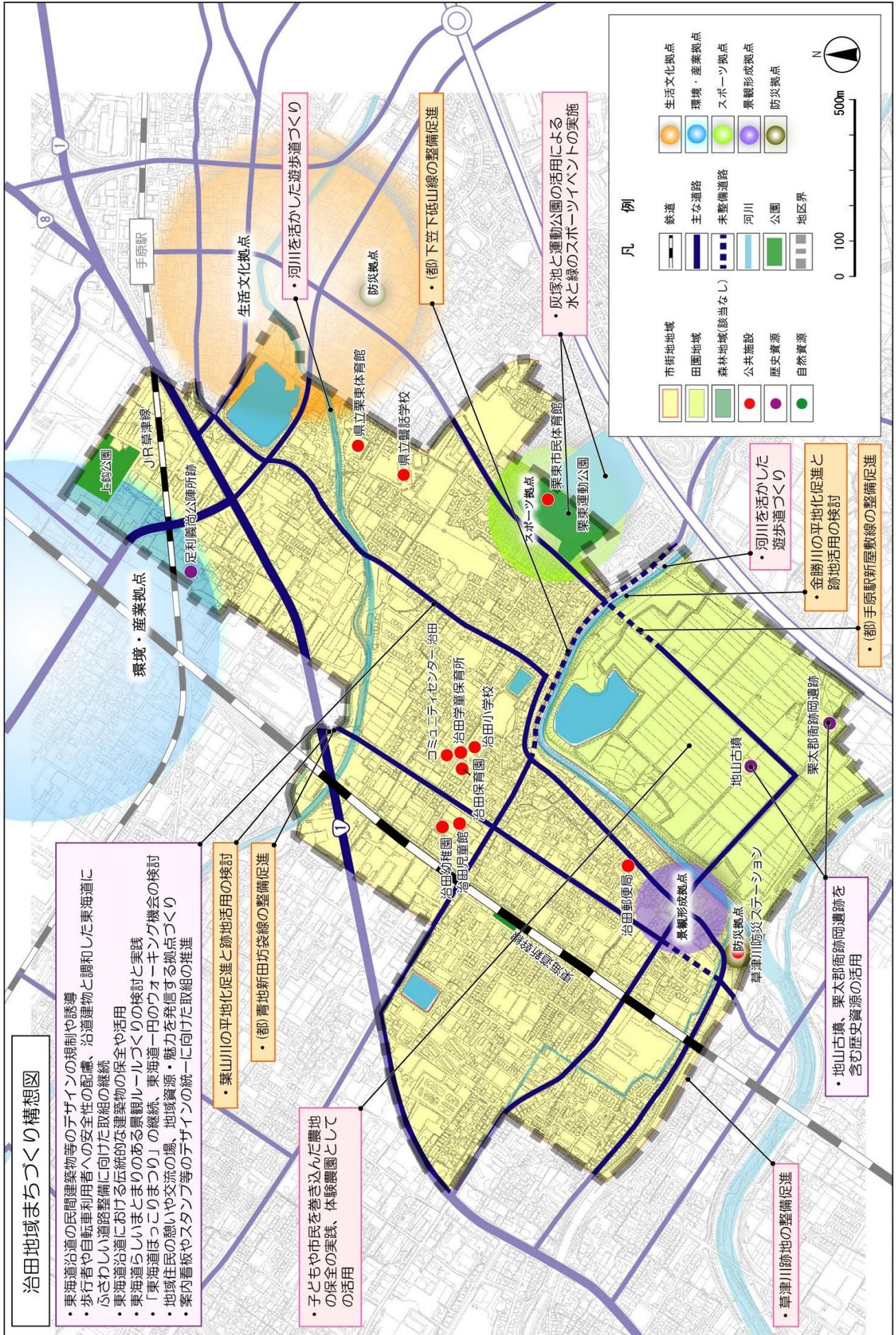
目標3. 水辺や緑のうるおいにふれあう環境づくり

方針3-1：せせらぎを感じる緑に包まれた環境づくり

- 協働** ★身近な公園の充実や維持管理 【都市計画課】
- 協働** ・住民による公園や水辺等への緑化活動の促進 【都市計画課、土木管理課】
- 地域** ・子どもや市民を巻きこんだ農地の保全の実践、体験農園としての活用 【農林課、学校教育課】

方針3-2：身近な河川環境を活かした憩いの空間づくり

- 行政** ★草津川跡地の整備促進 【都市計画課】
- 協働** ★河川を活かした遊歩道づくり 【土木管理課、自治振興課】
- 短期の取組：・委員会の立ち上げなど、協働によるせせらぎを活用した遊歩道づくり等のプロジェクトの推進。
- 協働** ・灰塚池と運動公園の活用による水と緑のスポーツイベントの実施 【スポーツ・文化振興課】
- 短期の取組：・駅伝やマラソン大会等の実施。
- 地域** ・河川や池へのごみ投棄の防止、環境美化活動の継続 【環境政策課】



3-5. 治田東地域

①治田東地域の概要

1. 位置・面積

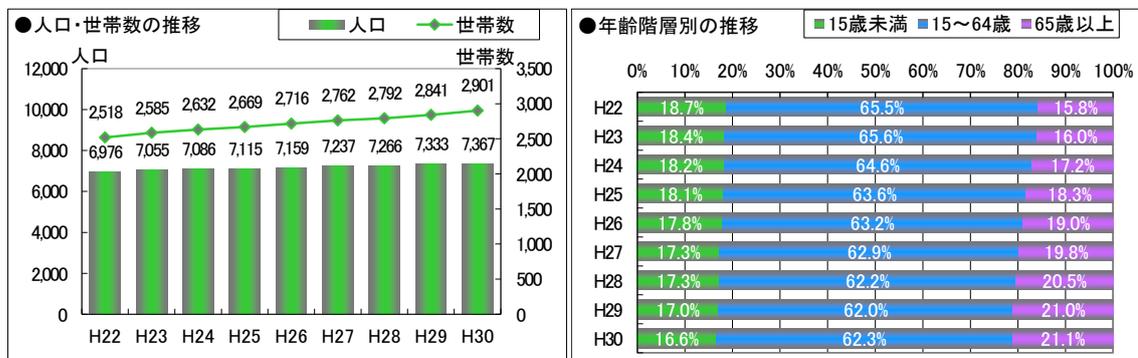
- ・ 治田東地域は本市の中央部や北側に位置し、面積は 326.4ha で本市全体の 6.2% を占めています。
- ・ 市役所、なごやかセンターを始めとした公共公益施設、食料品店やドラッグストアなど小売業施設が多く立地し、本市の中心的役割を担う地域です。
- ・ 地域の中央には安養寺山があり、地域の南部には、農地やゴルフ場が広がる中に集落地が点在する田園環境が広がっています。



歴史資源	東方山安養寺、小槻大社、和田古墳群、椿山古墳、下戸山古墳
施設	栗東市役所、栗東郵便局、なごやかセンター、栗東地域包括支援センター、出土文化財センター、栗東自然観察の森、栗東中学校、治田東小学校、治田東幼稚園（保育園、幼稚園）、コミュニティセンター治田東、治田東児童館（地域子育て支援センター治田東）、治田東学童保育所、学習支援センター

2. 人口・世帯数

- ・ 平成 30 年の治田東地域の人口は、7,367 人、世帯数は 2,901 世帯です。
- ・ 人口、世帯数ともに年々の増加傾向となりますが、人口の増加幅は微増となっています。
- ・ 年齢別の人口比率は 15 歳未満が 16.6%、15～64 歳が 62.3%、65 歳以上が 21.1% となっており、15 歳未満が平成 22 年以降は減少傾向に、65 歳以上は増加傾向となっています。



3. 地域特性

- ・ 市役所周辺は、教育文化施設など本市の中核となる施設やサービスが集積するエリアであり、生活利便性や各施設へのアクセス性の向上などが求められています。また、地区計画や景観のまちづくりに積極的に取り組んでおり、今後さらに良好な景観や土地利用に向けた取組が求められています。
- ・ 身近に自然とふれ合える場所である安養寺山は、地域住民が安全に散策できたり、子どもから高齢者まで様々な世代が憩える場としての環境づくりが求められています。
- ・ 葉山川や金勝川などの河川や灰塚池、まとまった農地は、身近に水や緑が感じられる地域資源と捉え、河川沿道の散策、市民農園や農業体験などの地域住民の憩いや交流の場としての有効活用が求められています。

②治田東地域の方針

■まちづくりのテーマ

『人と自然に優しく

うるおいのある 暮らしやすいまち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 安養寺山や田園のうるおいを守り、活かす地域づくり

方針1-1：地域住民総参加による緑を守り、活かすまちづくり

協働 ★子どもから高齢者まで地域住民みんなの憩いの場としての安養寺山の安全性の確保、活用促進

【商工観光労政課、農林課】

短期の取組：
・階段や手すり、トイレの修繕。
・行政による土砂災害等への安全の確保。
・安養寺山に入れることの情報発信。



栗東自然観察の森

協働 ★栗東自然観察の森の活用促進

【生涯学習課】

協働 ・金勝山系から安養寺山へ歩いて楽しめるお旅所ポイントづくり 【商工観光労政課】

地域 ・子どもを巻きこんだ安養寺山の散策やマップづくりなどのまちづくりの実践

短期の取組：
・安養寺山散策のマップづくり。 【学校教育課、商工観光労政課、自治振興課】
・安養寺山の手入れ、維持管理。

地域 ・自然での遊び方を教える大人の育成、子どもに遊び方を伝える取組の実践

【生涯学習課】

地域 ・市民による安養寺山愛護活動の推進

【農林課、商工観光労政課】

方針1-2：静かな田園環境の保全、うるおいが感じられる生活環境づくり

行政 ・幹線道路の街路樹整備

【道路・河川課】

協働 ★葉山川、金勝川のうるおいを活かした遊歩道づくり、灰塚池を活用した公園づくり

【土木管理課、道路・河川課、国・県事業対策課、都市計画課、スポーツ・文化振興課、農林課】

短期の取組：
・灰塚池や運動公園の整備。
・灰塚池の公園化による遊べる環境づくり。

協働 ・まとまった農地の保全、市民農園としての活用

【農林課】

短期の取組：
・農家と住民を繋ぐコーディネーターや仕掛人の発掘。
・イベントでの資金づくり。
・日常のスタッフの充実。

協働 ・小槻大社や下戸山古墳など歴史的資源と調和した周辺環境の整備

【スポーツ・文化振興課】

方針1-3：交流を促進する仕組みづくり

協働 ・祭りや地域のまちづくり活動などの周知やPR

【秘書広報課、商工観光労政課】

協働 ・安養寺山や観光ルートなど見どころの情報発信

【秘書広報課、商工観光労政課】

目標2. 安全・安心で暮らしやすく、誇りを持てる地域づくり

方針2-1：交通混雑解消に向けた幹線道路網の整備

行政 ★(都)山手幹線、(都)下笠下砥山線、(都)下戸山灰塚線、(市)安養寺下戸山線の整備推進

【道路・河川課、国・県事業対策課】

方針2-2：既成市街地や集落内の安全・安心、暮らしやすい環境の向上

行政 ・葉山川、金勝川の平地化促進 【国・県事業対策課】

協働 ★狭隘道路の拡幅、隅切り、カーブミラーの整備など生活道路の改善

【土木管理課、交通政策課】

短期の取組：・自転車レーンの整備。
・ゾーン30などの速度規制。
・通過交通の流入禁止（一方通行化、時間規制）。

協働 ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応

【住宅課】

短期の取組：・子育て世帯向け住宅への空家の活用。

地域 ★地域ぐるみの防災や防犯活動の促進

【危機管理課】

方針2-3：誰もが移動しやすい歩行空間の確保、交通手段の実現

行政 ★利用しやすいバスネットワークの促進 【交通政策課】

行政 ・歩道のバリアフリー化、歩行者信号、街灯等の歩きやすい道路づくり

【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

協働 ★名神高速道路下や灰塚橋へ向かう山田川河川敷道路など、通学路の安全性確保

【土木管理課、交通政策課、国・県事業対策課、教育総務課】

短期の取組：・(下戸山方面からの)小学生の通学路の安全確保。
・金勝川沿い県道の歩道の整備。

地域 ・安全パトロールの実施、危険箇所マップの作成など地域での交通安全の推進

【交通政策課、危機管理課】

方針2-4：地域住民主体のまちづくりによる地域コミュニティの強化

協働 ・歴史文化を活かした行事の保存と継承 【スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・こども神輿、五百井神社などの祭りの普及。

協働 ・ふれあいいちようまつりなど地域を代表するイベントの継続的な実施

【都市計画課、商工観光労政課、自治振興課】

地域 ・小・中学生と地域住民による花植え運動の促進

【都市計画課、学校教育課】

目標3. 中心市街地の一翼を担う文化・行政の拠点づくり

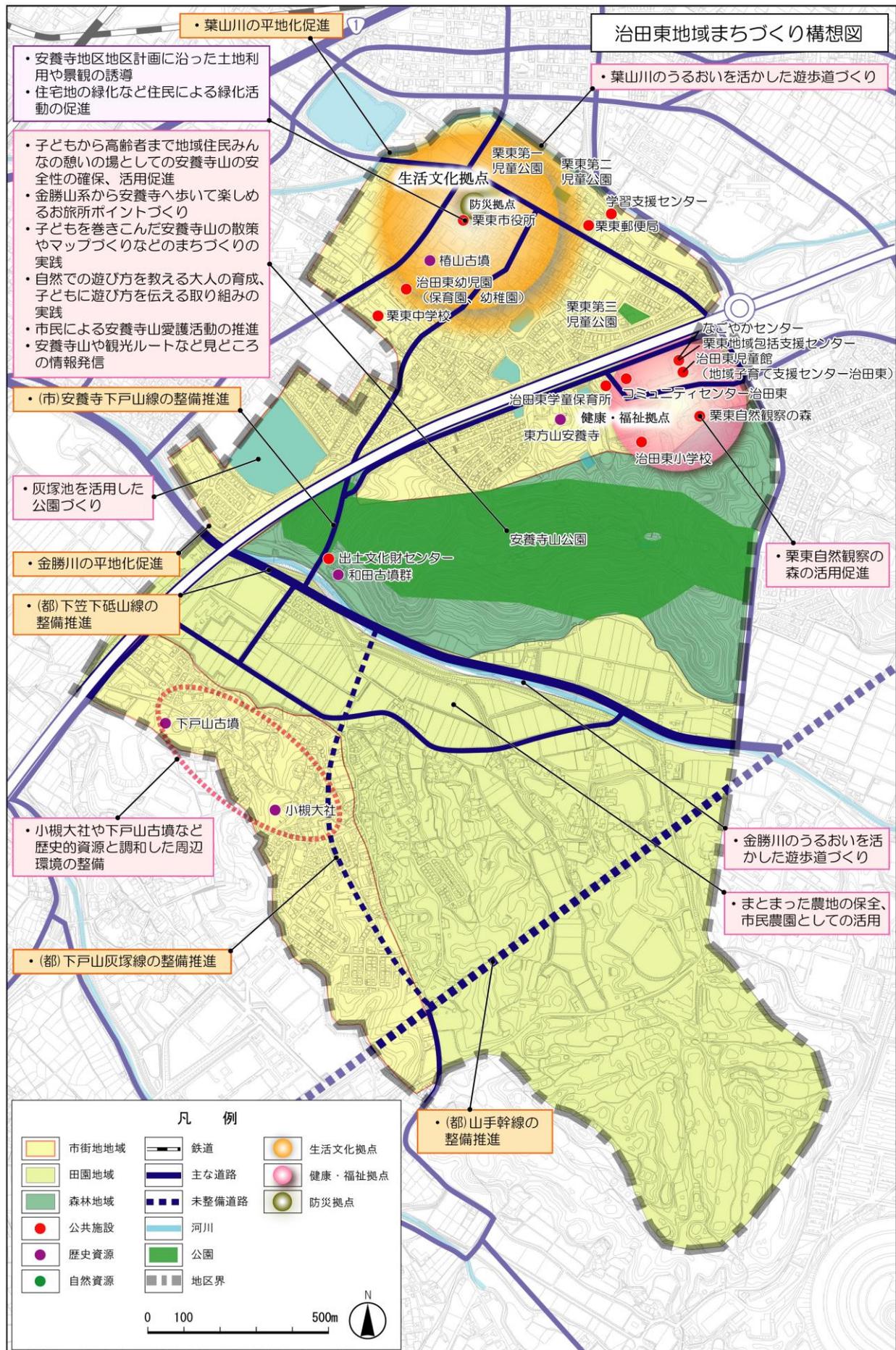
方針3-1：魅力的で風格のある市街地の形成、便利で快適な居住環境の形成

行政 ★安養寺地区地区計画に沿った土地利用や景観の誘導 【都市計画課】

地域 ★住宅地の緑化など住民による緑化活動の促進

【都市計画課、自治振興課】

短期の取組：・地域のまちづくり活動の周知。



3-6. 治田西地域

①治田西地域の概要

1. 位置・面積

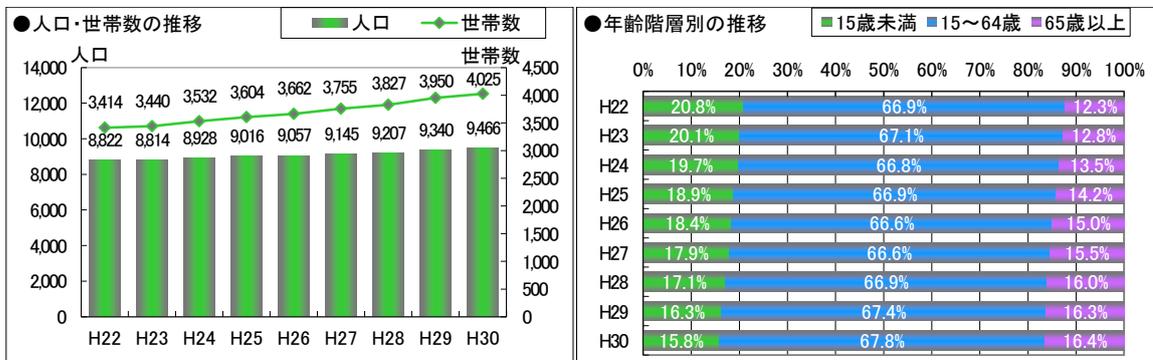
- ・ 治田西地域は、本市の西部に位置し、面積は 206.3ha で本市全体の 3.9%を占めています。
- ・ 治田西地域は本市の中心市街地へも近接し、生活利便性の高い地域です。
- ・ 栗東工業団地を中心として多くの工場、企業が立地しており、産業の拠点となっています。



歴史資源	菌神社
施設	湖南広域消防局中消防署、治田西スポーツセンター、ゆうあいの家、栗東西地域包括支援センター、治田西小学校、治田西幼稚園（保育園、幼稚園）、治田西学童保育所、コミュニティセンター治田西、治田西児童館、国土交通省滋賀国道事務所草津維持出張所

2. 人口・世帯数

- ・ 平成 30 年の治田西地域の人口は、9,466 人、世帯数は 4,025 世帯です。
- ・ 治田西地域は、人口、世帯数ともに平成 23 年以降から増加傾向となっています。
- ・ 年齢別の人口比率は 15 歳未満が 15.8%、15～64 歳が 67.8%、65 歳以上が 16.4%となっています。



3. 地域特性

- ・ 地域のほぼ中央に葉山川が流れ、緑豊かな菌神社があるなど、地域の貴重な水と緑のオープンスペースとなっていますが、葉山川や平八池へのごみの不法投棄等があり、生活環境や景観上の問題があります。今後、平八池や河川など、子どもの遊び場や地域の憩いの場として有効活用していくことが求められています。
- ・ 生活道路は、道幅が狭く、抜け道として進入してくる車両が多いため、危険な状況になっています。また、消防車や救急車などの緊急車両の円滑な通行に支障をきたすところもあり、交通規制や狭い道の拡幅整備が求められています。
- ・ コミュニティセンターなどの地域のまちづくり活動の拠点としての充実が求められています。

②治田西地域の方針

■まちづくりのテーマ

『ホッとゆうあい 緑が未来

うるおいただよう夢街道』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 地域住民のゆうあいを深めて進めるまちづくり

方針1-1：地域の交流を深める空間づくり

行政 ★葉山川の親水公園の整備

【都市計画課、国・県事業対策課】

行政 ・治田西スポーツセンターの機能充実

【スポーツ・文化振興課】

協働 ★菌神社の緑の保全 【都市計画課、スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・市民と行政の役割分担による菌神社の管理や保全。



葉山川

方針1-2：住民主体のまちづくり活動を通じた交流活性化

協働 ★ゆうあいの家やコミュニティセンターなど利用しやすい施設の運営 【長寿福祉課、自治振興課、交通政策課】

短期の取組：・コミセンの建物の修復や維持管理。
・コミュニティバスなどのアクセスの確保。

協働 ★葉山川の環境美化活動の促進、不法投棄の防止

【環境政策課】

地域 ・住宅地の緑化など住民による緑化活動の促進

【都市計画課】

地域 ・迷惑駐車防止など住民による交通マナー啓発活動の促進

【交通政策課】

地域 ・地域の歴史や伝統を学ぶ機会づくりやサークル活動等の多世代交流事業の促進

【生涯学習課、長寿福祉課、スポーツ・文化振興課】

地域 ・まちづくり活動を支える自治会館等の地域施設の充実と人材の発掘や活用

【自治振興課】



菌神社

目標2. 水辺のうるおいや郷土の歴史にふれあう環境づくり

方針2-1：うるおいが感じられる生活環境づくり

協働 ★平八池（中沢公園）の自然観察公園化、平八池の美化活動の促進

【都市計画課、農林課】

協働 ★身近な公園の確保による地域の憩い、子どもの遊び場づくり

【都市計画課、土木管理課、住宅課】

短期の取組：・葉山川平地化による空地の活用。
・空家の土地等を活用した公園の確保。

協働 ・農地の一部の計画的な緑地化

【都市計画課、農林課】

短期の取組：・緑地化に向けた地権者との話し合いの場づくり。

地域 ・緑地の確保や住民による緑化など、四季のうるおいが感じられる地域景観の創出
【都市計画課】

地域 ・地域が一体となって行う葉山川清掃活動の促進
【環境政策課】

地域 ★子どもたちを巻きこんだ公園の維持活動や手入れによるコミュニティの充実
【都市計画課、農林課、自治振興課】

短期の取組：・行政と地域の協力による、子どもたちのための畑づくり。

方針2-2：地域の歴史を活かした生活環境づくり

協働 ・遺跡や社寺などの地域資源のまちづくりへの活用
【スポーツ・文化振興課、自治振興課】

協働 ・遺跡や社寺など歴史的資源と調和した周辺環境の整備
【スポーツ・文化振興課】

地域 ・景観重要建築物、樹木の指定による地域資源の維持や保全
【都市計画課】

目標3. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針3-1：通過交通の流入抑制に向けた道路網の整備

行政 ・(都)山手幹線(国道1号バイパス)、(都)野洲栗東線(国道8号バイパス)の整備
促進
【国・県事業対策課】

方針3-2：誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

行政 ★災害時に備えた身近な避難施設の確保
【危機管理課】

行政 ・利用しやすいバスネットワークの促進
【交通政策課】

行政 ★歩道のバリアフリー化、歩行者用信号、街灯等の歩きやすい環境づくり
【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

協働 ★狭隘道路の拡幅(水路の暗渠化を含む)、隅切り、カーブミラーの整備、道路標識の修繕など生活道路の改善
【土木管理課、交通政策課】

短期の取組：・子どもの安全性確保のための水路の暗渠化。
・水路のグレーチングの設置。

協働 ★生活道路の一方通行化、歩車分離帯、コミュニティ道路化による安全な道路空間の確保
【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

短期の取組：・速度制限のためのハンプ設置やゾーン30の設定。
・葉山川堤防の道路の一方通行化。

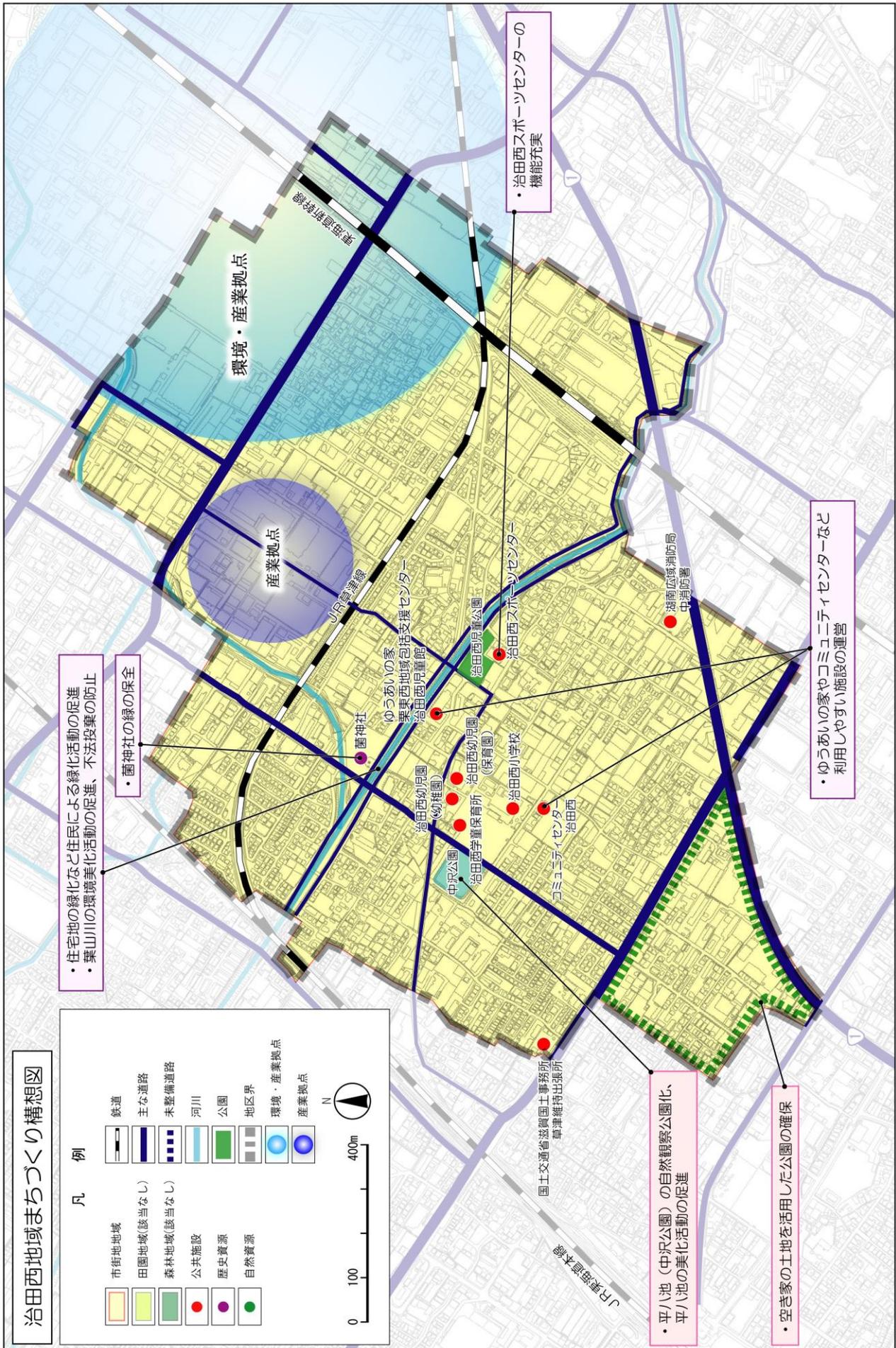
協働 ・高齢者のふれあいや交流の場づくりなど地域福祉の推進
【社会福祉課、長寿福祉課】

短期の取組：・民生委員等の担い手の発掘。

協働 ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応
【住宅課】

地域 ・地域ぐるみの防災や防犯活動の促進
【危機管理課】

短期の取組：・防犯灯の設置、LED化。

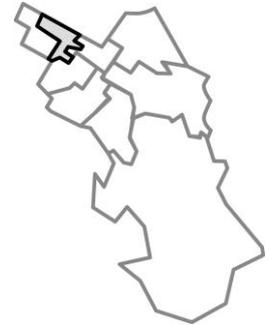


3-7. 大宝地域

①大宝地域の概要

1. 位置・面積

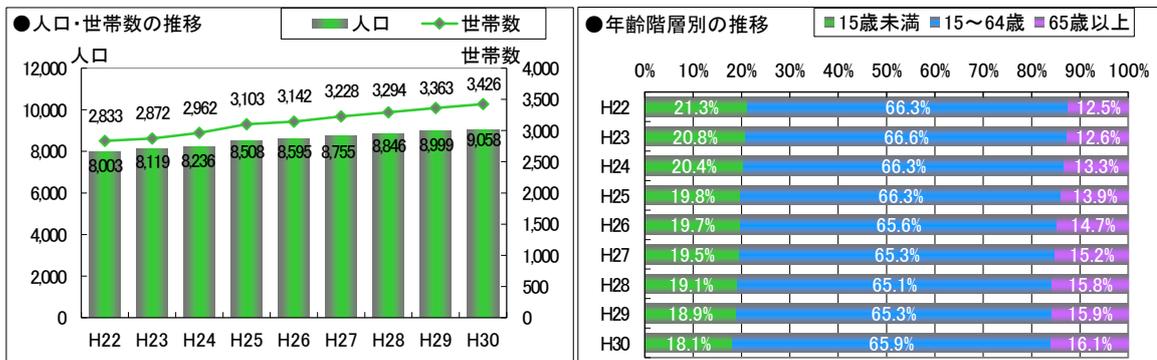
- ・大宝地域は、本市の北西部に位置し、面積は 145.6ha で本市全体の 2.8%を占めています。
- ・東海道本線（琵琶湖線）が地域内を横断し、栗東駅が立地しています。栗東駅の開業以後、栗東駅東側に市街地整備が進み、栗東芸術文化会館さきらなどの公共公益施設が建設されています。
- ・栗東駅の西側に住宅市街地が広がり、地域中央には中山道が通っています。
- ・地域北部には、まとまった農地があり、東西の広域的な移動を結ぶ主要幹線道路が通っています。



自然資源	大宝神社のクスノキ
歴史資源	中山道、大宝神社（本殿・拝殿・稲田姫社本殿・石造足助楓崖碑・境内社追来神社本殿）、西田家住宅
施設	栗東駅、大宝郵便局、ウイングプラザ、大宝テニスコート、栗東駅前交番、栗東西中学校、大宝小学校、大宝幼稚園、大宝学童保育所、コミュニティセンター大宝、大宝児童館、第3分団消防車庫・詰所

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の大宝地域の人口は、9,058 人、世帯数は 3,426 世帯です。
- ・人口と世帯数はともに増加傾向となっています。
- ・年齢別の人口比率は 15 歳未満が 18.1%、15～64 歳が 65.9%、65 歳以上が 16.1%となっています。



3. 地域特性

- ・栗東駅は、本市の玄関口として、花や緑あふれる良好な都市景観が求められています。
- ・栗東駅周辺は、日常生活を支える機能が集積した良好な居住環境となっていますが、栗東駅の通勤通学時の混雑、空き店舗などの問題があります。栗東駅の利便性の向上や商業施設の店舗充実などが求められています。
- ・ウイングプラザや栗東文化芸術会館さきら、駅前広場などを多様な主体が有効活用し、まちづくり活動を通じて交流できる機会や環境づくりが求められています。
- ・中山道は、沿道に伝統的建築物が残るなど歴史が感じられる地域資源であるとともに、地域の生活道路となっており、歩行者の安全な歩行空間の確保が求められています。
- ・地域北部にあるまとまった農地は、広域的な交通利便性を活かした、まちの賑わいや活性化に繋がる土地利用の検討が求められています。

②大宝地域の方針

■まちづくりのテーマ

『人が集い 大きな宝を育む 住みよいまち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 大宝神社の緑の拠点とうるおいのある生活環境づくり

方針1-1：地域住民の憩いと交流の場となる緑の拠点づくり

協働 ★大宝公園の維持管理や住民の憩いの場となる施設の充実 **【都市計画課】**

短期の取組：・大宝公園の維持管理や案内看板、街灯、トイレ、ベンチの設置など施設の充実に向けた話し合いの場づくり。



大宝神社

協働 ・中ノ井川のうるおいを活かした親水の間づくりの検討

【国・県事業対策課】

協働 ★中ノ井川堤防への植樹やホタルなどがすすめる環境づくり

【環境政策課、自治振興課、国・県事業対策課】

短期の取組：・中ノ井川の維持管理や充実に向けた地域での話し合いの場づくり。

協働 ・主要幹線道路沿道などにおける広域的な交通利便性を活かしたまちの活力や賑わいの創出に繋がる土地利用の検討 **【元気創造政策課、都市計画課】**

地域 ・大宝公園や中ノ井川など地域のうるおい資源を結ぶ散策コースづくり、情報発信 **【商工観光労政課】**

方針1-2：うるおいが感じられる生活環境づくり

行政 ・歴史的環境に配慮した公共施設の整備 **【都市計画課】**

行政 ・中山道沿道の民間建築物等のデザインの規制や誘導 **【都市計画課】**

協働 ・伝統的建築物等の保全や活用 **【都市計画課、住宅課、スポーツ・文化振興課】**

協働 ・まとまった農地の保全 **【農林課】**

地域 ★地域ぐるみの緑化や河川の清掃などの取組の継続 **【都市計画課、環境政策課、自治振興課】**

目標2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針2-1：交通混雑解消に向けた道路網の整備

行政 ・(都)大門野尻線の整備促進 **【道路・河川課】**

行政 ★(主)栗東志那中線の拡幅整備の推進 **【国・県事業対策課】**

方針2-2：既成市街地や集落内の安全・安心、暮らしやすい環境の向上

協働 ★一方通行化、無電柱化、コミュニティ道路化、信号機や道路標識の設置など、中山道の歩行空間の確保や通過交通対策の検討による安全性の確保 **【交通政策課】**

短期の取組：・道路標識の設置。
・時間規制による一方通行化の検討。

協働 ★狭隘道路の拡幅（水路の暗渠化を含む）、隅切り、カーブミラーの整備など生活道路の改善 **【土木管理課、交通政策課】**

協働 ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応 **【住宅課】**

短期の取組：・自治会からの転居する方への空家流通促進のための呼び掛けの実施。
・空家の利活用モデル事業の実施。

地域 ・避難経路の確認や防犯パトロールなど地域ぐるみの防災、防犯活動の促進 **【危機管理課】**

方針2-3：誰もが安心して暮らせるまちづくり

行政 ・利用しやすいバスネットワークの促進 **【交通政策課】**

行政 ・歩道のバリアフリー化、歩行者用信号、街灯、地下道等の歩きやすい環境づくり **【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】**



中山道

短期の取組：・地下道の照明等を明るくし、出入口にモニターを設置するなど、防犯性を高める。
・栗東駅地下道への車止め設置等による、歩行者の安全性の確保。

協働 ★交差点待機場所の確保や一方通行化など、子どもの通学路の安全性の確保 **【土木管理課、交通政策課、道路・河川課、教育総務課】**

目標3. 施設集積や特性を活かした利便性の高い拠点づくり

方針3-1：本市の玄関口となる都心居住拠点の充実

行政 ★栗東駅前地区地区計画に沿った土地利用や景観の誘導 **【都市計画課】**

行政 ★栗東駅の利便性の向上 **【元気創造政策課、交通政策課】**

協働 ・市内の観光資源への誘導、取組の連携促進、地域の魅力づくりや情報発信 **【商工観光労政課、秘書広報課】**

協働 ・生活の利便性や快適性の向上に向けた栗東駅前地区地区計画のあり方の検討 **【都市計画課】**

協働 ・本市の玄関口となるような花や緑あふれる緑化促進、良好な景観形成 **【都市計画課】**

地域 ・栗東芸術文化会館さきらを中心とした音楽などの文化活動による交流促進 **【スポーツ・文化振興課】**



栗東芸術文化会館さきら

方針3-2：住民主体のまちづくり活動を通じた交流の活性化

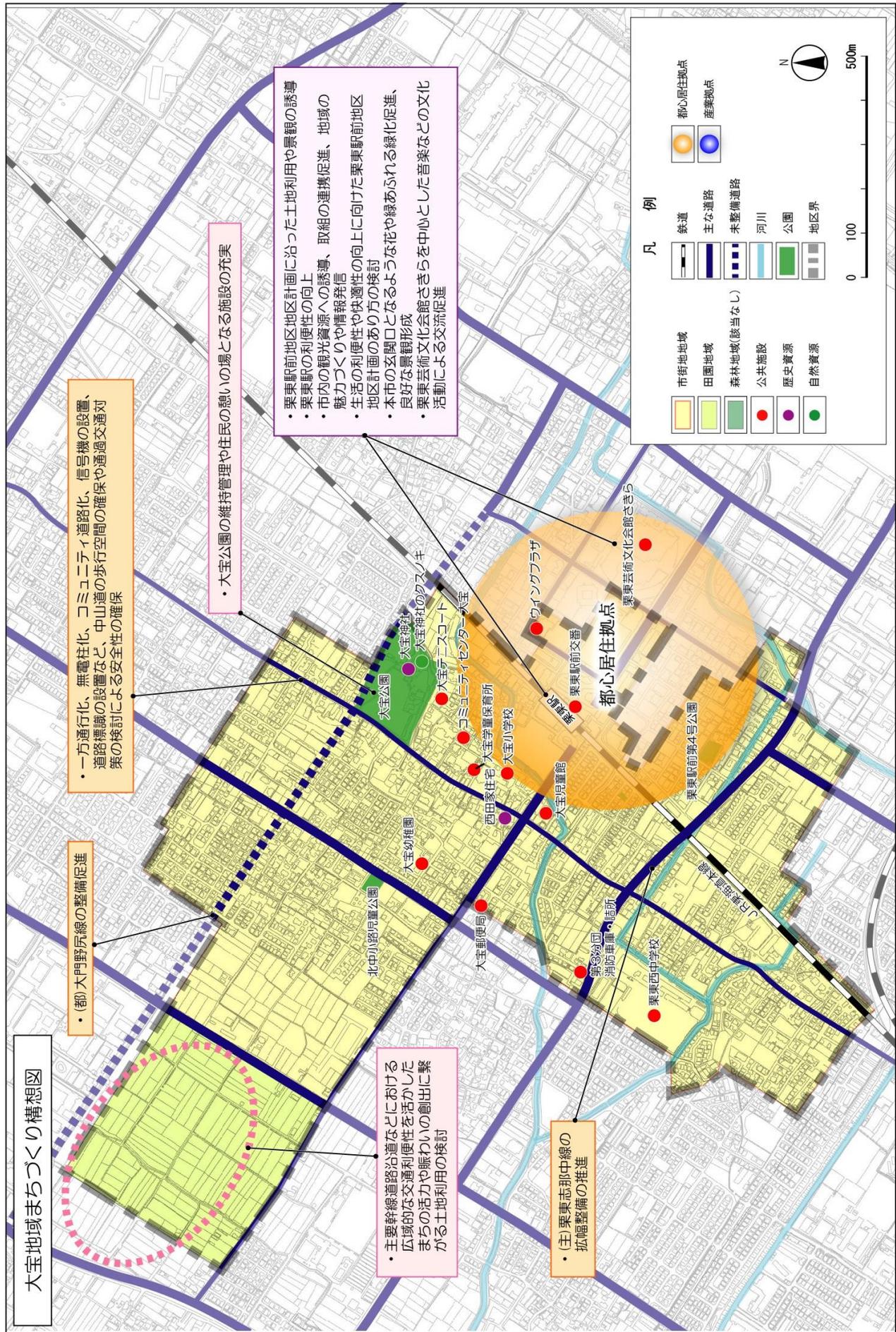
協働 ★まちづくりの実践に向けた話し合いの継続、地域住民と行政によるまちづくり活動の進捗状況の共有によるコミュニケーションづくり、協働の取組の実践 **【自治振興課、都市計画課】**

協働 ・高齢者のふれあい、交流の場づくりなど地域福祉の促進 **【社会福祉課、長寿福祉課】**

協働 ・地域住民、ボランティアグループ、まちづくり団体などによる花いっぱい運動や美化活動の促進 **【環境政策課、都市計画課、自治振興課】**

協働 ・市内外からの集客や消費喚起に繋がる取組の実践 **【商工観光労政課】**

地域 ・子どもや若者も参加しやすい地域活動の推進、地域コミュニティの強化 **【自治振興課、学校教育課、生涯学習課】**

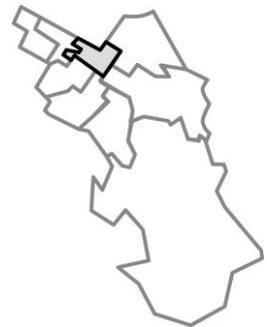


3-8. 大宝東地域

①大宝東地域の概要

1. 位置・面積

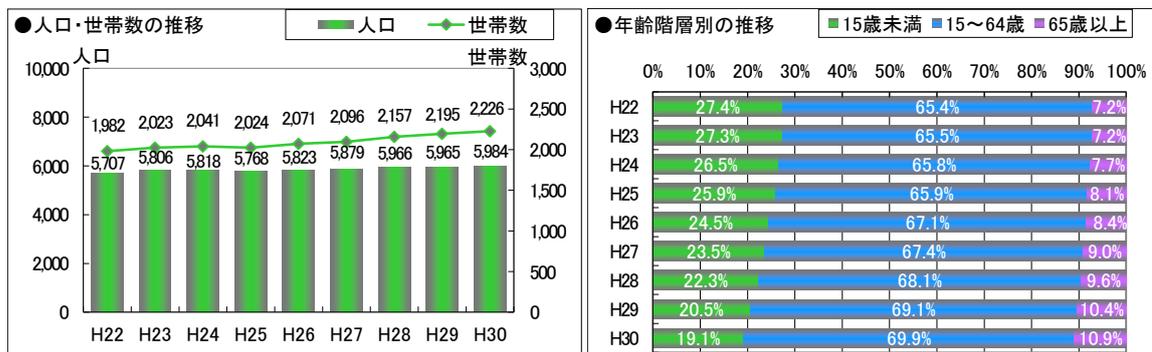
- ・大宝東地域は、本市の北西部に位置し、面積は 140.6ha で本市全体の 2.7%を占めています。
- ・東海道新幹線が地域内を横断し、地域の西側を東海道本線（琵琶湖線）が通過しています。栗東駅の開業後（平成 3 年）、駅の東側は市街地整備が進み、マンションや住宅が多く建設されています。
- ・地域の北側にはまとまった農地が広がっている一方で、中央部には工業団地が広がり、地域の南東側では、新たな工業施設の建設が計画されています。



歴史資源	宇和宮神社（本殿・拝殿）、日吉神社本殿
施設	大宝東小学校、大宝東学童保育所、大宝幼稚園分園、コミュニティセンター 大宝東、大宝東児童館（地域子育て包括支援センター）、栗東西図書館

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の大宝東地域の人口は、5,984 人、世帯数は 2,226 世帯です。
- ・人口はほぼ横ばいとなっており、世帯数は平成 25 年以降から増傾向となっています。
- ・年齢別の人口比率は 15 歳未満が 19.1%、15～64 歳が 69.9%、65 歳以上が 10.9%となっています。



3. 地域特性

- ・栗東駅は、本市の玄関口として、花や緑あふれる良好な都市景観が求められています。
- ・栗東駅周辺は、日常生活を支える機能が集積した良好な居住環境となっていますが、栗東駅の通勤通学時の混雑、空き店舗などの問題があります。栗東駅の利便性の向上や商業施設の店舗充実などが求められています。
- ・ウイングプラザや栗東文化芸術会館さきら、駅前広場などを有効活用し、多様な主体が文化や芸術、まちづくり活動を通じて交流できる機会や環境づくりが求められています。
- ・旧集落では、道が狭く、交通量が多いため、歩行者の安全性の確保が求められています。
- ・地域内には、次代の産業振興を支える環境・産業拠点があり、都心居住拠点や生活文化拠点との連携、新産業の集積によるまちの活力の活性化が望まれています。

②大宝東地域の方針

■まちづくりのテーマ

『うるおい・にぎわい

交流を育む 暮らしやすいまち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 地域の活力を育む都心居住と産業の拠点づくり

方針1-1：本市の玄関口となる都心居住拠点の充実

行政 ★栗東駅前地区地区計画に沿った土地利用や景観の誘導 **【都市計画課】**

行政 ・歩行者や自転車ネットワークの形成、緑豊かな道路空間づくり

【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

協働 ★栗東駅の利便性の向上、駅周辺の商業施設の充実に向けた取組の推進 **【元気創造政策課、交通政策課、商工観光労政課】**

短期の取組：・時間帯による栗東駅からの新快速利用に向けた取組の実施。
・地域住民による更なる栗東駅の利用。

協働 ・生活の利便性や快適性の向上に向けた栗東駅前地区地区計画のあり方の検討 **【都市計画課】**

短期の取組：・地区計画の見直しの必要性の有無も含めた地域での話し合いの場づくり。

協働 ・本市の玄関口となるような花や緑あふれる緑化促進、良好な景観形成 **【都市計画課】**

協働 ・市内の観光資源への誘導、取組の連携促進 **【商工観光労政課】**

地域 ★栗東芸術文化会館さきらを中心とした音楽などの文化活動による交流促進 **【スポーツ・文化振興課】**

地域 ・市内で栽培された農産物等の朝市の継続、商業施設等との連携 **【農林課、商工観光労政課】**

方針1-2：次代の産業振興を支える環境・産業拠点づくり

行政 ・産業機能を支える道路網の整備 **【道路・河川課】**

協働 ・「環境」や「新技術」の分野における先進企業や商業・居住などの生活関連機能の土地利用の促進

【商工観光労政課、国・県事業対策課】

協働 ・環境・産業拠点の機能充実に向けた産業展示や産業交流による人や情報などの交流の促進

【商工観光労政課】

協働 ・敷地内緑化や屋上緑化、壁面緑化などによる緑豊かな空間づくり

【都市計画課】



栗東駅



環境・産業拠点

目標2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針2-1：交通混雑解消に向けた道路網の整備

- 行政** ★(都)大門野尻線、(都)野洲栗東線(国道8号バイパス)、(都)片岡栗東線の整備促進
【道路・河川課、国・県事業対策課】

方針2-2：既成市街地や集落内の安全性の向上

- 行政** ・中ノ井川ショートカット事業の促進【国・県事業対策課】

- 協働** ★狭隘道路の拡幅、隅切り、カーブミラー、道路標識の整備など生活道路の改善【土木管理課、交通政策課】

- 協働** ・速度制限等の安全な道路空間の確保【交通政策課】

短期の取組：・ゾーン30を進めるための調査の実施。

- 協働** ・地域ぐるみの防災や防犯活動の促進【危機管理課】

短期の取組：・自治会での災害時の「地域の集合場所」の検討。
・行政による消火栓のマップ作成や標識の設置。



生活道路

方針2-3：誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 行政** ・利用しやすいバスネットワークの促進【交通政策課】

- 協働** ・歩道のバリアフリー化、街路樹、街灯、交通安全啓発看板等の維持や整備
【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

- 協働** ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応
【住宅課】

- 協働** ★高齢者が安心して生活できる地域福祉の促進【長寿福祉課、社会福祉課】

- 協働** ★障がい者が安心して生活できる地域福祉の促進【障がい福祉課、社会福祉課】

目標3. うるおいが感じられ、人と人との繋がりを育む生活環境づくり

方針3-1：地域住民の憩いと交流の場づくり

- 協働** ★身近な公園とその安全性の確保【都市計画課】

短期の取組：・公園の特性や利用者層に応じた利用用途の使い分け。PTA や子ども会等での意見交換の実施。

- 協働** ・宇和宮神社や日吉神社の緑を活かした憩いの場づくり

【都市計画課、スポーツ・文化振興課】

- 地域** ・地域に伝わる歴史や文化の学習機会づくり【生涯学習課、スポーツ・文化振興課】

方針3-2：地域のコミュニティを育む生活環境づくり

- 協働** ★多様な世代や新しく移住した住民が文化や芸術、まちづくり活動により交流できる機会の推進【自治振興課、スポーツ・文化振興課】

短期の取組：・地域住民同士で災害時に助け合える仕組みづくり。
・地域で話し合う機会づくり。

- 協働** ・高齢者の憩いや交流の場づくり【長寿福祉課】

- 協働** ・障がい者の憩いや交流の場づくり【障がい福祉課】

- 地域** ・まとまった農地の保全【農林課】

- 地域** ・農地や河川など自然環境を活かした自然体験の機会づくり【農林課】

- 地域** ★地域ぐるみの緑化や河川の清掃などの取組の推進
【環境政策課、都市計画課、自治振興課】

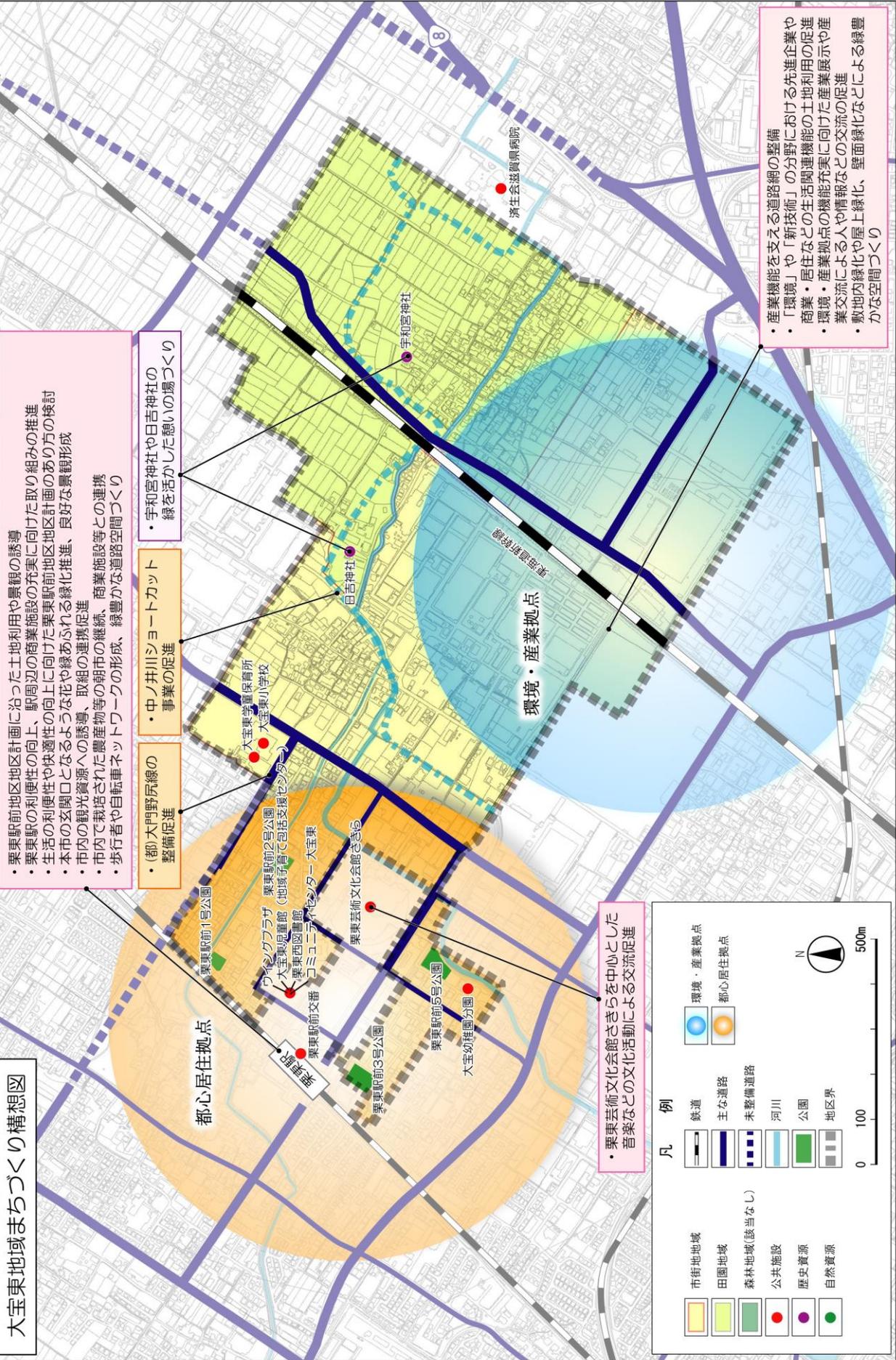


日吉神社



まとまった農地

大宝東地域まちづくり構想図



・栗東駅前地区計画に沿った土地利用や景観の誘導
 ・栗東駅の利便性の向上、駅周辺の商業施設の充実に向けた取り組みの推進
 ・生活の利便性や快適性の向上に向けた栗東駅前地区計画のあり方の検討
 ・本市の玄関口となるような花や緑あふれる緑化推進、良好な景観形成
 ・市内の観光資源への誘導、取組の連携促進
 ・市内で栽培された農産物等の朝市の継続、商業施設等との連携
 ・歩行者や自転車ネットワークの形成、緑豊かな道路空間づくり

・(都)大門野尻線の整備促進
 ・中ノ井川ジョイント事業の促進
 ・宇和宮神社や日吉神社の緑を活かした憩いの場づくり

・栗東芸術文化会館をさくらを中心とした音楽などの文化交流促進

・産業機能を支える道路網の整備
 ・「環境」や「新技術」の分野における先進企業や商業・居住などの生活関連機能の土地利用の促進
 ・環境・産業拠点の機能充実に向けた産業展示や産業交流による人や情報などの交流の促進
 ・敷地内緑化や屋上緑化、壁面緑化などによる緑豊かな空間づくり

凡例

市街地地域	環境・産業拠点
田園地域	都心居住拠点
森林地域(該当なし)	鉄道
公共施設	主な道路
歴史資源	未整備道路
自然資源	河川
	公園
	地区界

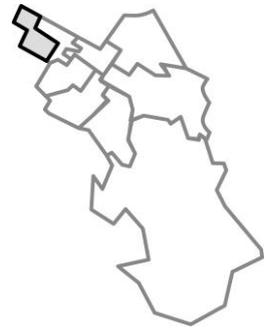
0 100 500m

3-9. 大宝西地域

①大宝西地域の概要

1. 位置・面積

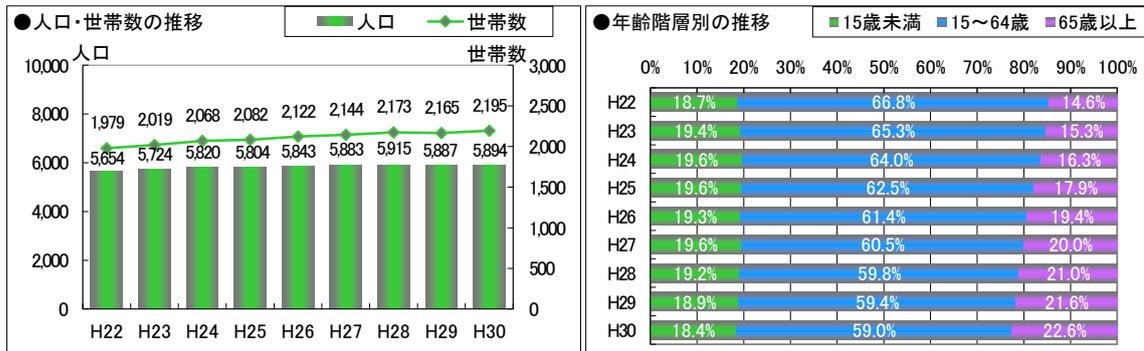
- ・大宝西地域は、本市の北西部に位置し、面積は 137.4ha で本市全体の 2.6%を占めています。
- ・市街地は地域の南東部にあり、北西部はまとまった農地や東西の広域的な移動を結ぶ主要幹線道路が通っています。
- ・主要地方道栗東志那中線が、大宝西地域と中心市街地及び琵琶湖方面を繋いでいます。



歴史資源	正楽寺（石造宝塔）、浄覚寺、蛭子神社
施設	十里体育館、ひだまりの家、大宝西小学校、大宝西幼稚園、大宝西保育園、大宝西学童保育所、コミュニティセンター大宝西、大宝西児童館

2. 人口・世帯数

- ・平成 30 年の大宝西地域の人口は、5,894 人、世帯数は 2,195 世帯です。
- ・人口は増減を繰り返しほぼ横ばいとなっており、世帯数は増加傾向となっています。
- ・年齢別の人口比率は 15 歳未満が 18.4%、15～64 歳が 59.0%、65 歳以上が 22.6%となっています。



3. 地域特性

- ・地域北部にあるまとまった農地は、無秩序な開発の抑制による保全、市民農園や農業体験など地域の交流や憩いの場としての有効活用、広域的な交通利便性を活かした土地利用の検討などが求められています。
- ・身近に自然やうるおいが感じられる河川や田園がありますが、近年ではごみの不法投棄や維持管理の問題があり、良好な生活環境づくりが求められています。
- ・本市の中心市街地である栗東駅や市役所への移動は、バスネットワークや道路網の整備によるアクセス性の向上が求められています。

②大宝西地域の方針

■まちづくりのテーマ

『みんなの笑顔と夢がつどう、 ほっこりした住み良いまち』

■まちづくり目標・方針・具体的な取組

目標1. 美しい田園風景の保全、うるおいが感じられる生活環境づくり

方針1-1：田園環境の保全、うるおいが感じられる生活環境の実現

行政 ・ 幹線道路沿道の屋外広告物の適正管理、田園風景などの良好な景観の保全 **【都市計画課】**

協働 ★まとまった農地の保全、農業体験や市民農園など市民の交流や体験の場としての有効活用の推進 **【農林課】**

協働 ★主要幹線道路沿道などにおける広域的な交通利便性を活かしたまちの活力や賑わいの創出に繋がる土地利用の検討 **【元気創造政策課、都市計画課】**

協働 ・ 神社仏閣の歴史的資源と調和した周辺環境の整備

地域 ・ 身近な公園の充実、緑の維持管理



田園風景

【スポーツ・文化振興課】

【都市計画課】

方針1-2：豊かな自然資源を活かした身近な憩いと交流の空間づくり

協働 ・ 中ノ井川の豊かな環境とふれあえる親水の場づくり **【国・県事業対策課】**

協働 ★河川や田んぼへのごみ投棄の防止、草刈りや清掃などによる河川環境の維持 **【環境政策課、土木管理課】**

短期の取組：・イベントの開催等をきっかけとした、地域での清掃活動の実施。

協働 ・ 地域ぐるみの朝市の開催や農産物販売所の設置など、生産者の顔が見える販売体制づくり、農産物の積極的な情報発信 **【農林課】**



中ノ井川

※「ほっこり」とは・・・

本来の京都言葉では、「つかれた」という意味であり、標準語では、「あたたかいさま、ほっとするさま」を表します。最近では、ほっとする、癒される、落ちつくことを表すことが多いようです。

目標2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

方針2-1：交通混雑解消に向けた道路網の整備

行政 ★(都)大門野尻線整備の整備推進

【道路・河川課】

行政 ・(主)栗東志那中線の拡幅整備の推進

【国・県事業対策課】

方針2-2：誰もが移動しやすい歩行空間の確保、交通手段の実現

行政 ・利用しやすいバスネットワークの促進、栗東駅や市役所などへのアクセス性の向上

【交通政策課】

短期の取組：・バス路線の表示を分かりやすくし、バス利用を促進する。

協働 ★歩道のバリアフリー化、歩行者用信号等の歩きやすい環境づくり

【土木管理課、交通政策課、道路・河川課】

方針2-3：誰もが安心して暮らせるまちづくり

協働 ・生活道路の速度制限等による安全な道路空間の確保

【土木管理課、交通政策課】

協働 ★狭隘道路の拡幅（水路の暗渠化を含む）、隅切り、カーブミラーの整備など生活道路の改善

【土木管理課、交通政策課】

協働 ・空家化の予防、適正管理や利活用、行政との連携による老朽空家への対応

【住宅課】

地域 ・防災マップづくり等地域ぐるみの防災や防犯活動の促進

【危機管理課】

地域 ・迷惑駐車やポイ捨て、ペットの糞捨てる防止など、地域活動の促進

【交通政策課、環境政策課】

目標3. みんなが集う地域の中心拠点づくり

方針3-1：地域のまとまりを高める中心拠点の形成、市民主役のまちづくり促進

行政 ★コミュニティセンターなどを地域住民が利用しやすい施設の運営

【自治振興課】

協働 ・近隣景観形成協定、建築協定、緑地協定の締結など、市民による美しいまちづくりの促進

【都市計画課、住宅課】

協働 ・それぞれの得意分野を活かした、人と人が繋がり、支え合うことができる地域づくりの推進

【生涯学習課、社会福祉課】

地域 ★地域の資源や魅力を活かした、若者や高齢者が参加しやすい地域活動の推進

【自治振興課、生涯学習課、長寿福祉課】

短期の取組：・地域の魅力づくり、情報共有や発信について、話し合う機会づくり。

地域 ・地域住民自らが地域に伝わる歴史や文化の掘り起こし、学習の実践

【スポーツ・文化振興課、生涯学習課】

方針3-2：住民主体のまちづくり活動を通じた交流の活性化

協働 ・まちづくりの具体的活動に向けた地域での話し合いの継続、地域住民と行政の協働による実践

【自治振興課】

協働 ★多様な人々のまちづくり活動の参加推進、教育や人材育成による地域の魅力向上

【自治振興課、生涯学習課】



大宝西地域まちづくり構想図

・まとまった農地の保全、農業体験や市民農園など市民の交流や体験の場としての有効活用の推進

・幹線道路沿道の屋外広告物の適正管理、田園風景などの良好な景観の保全

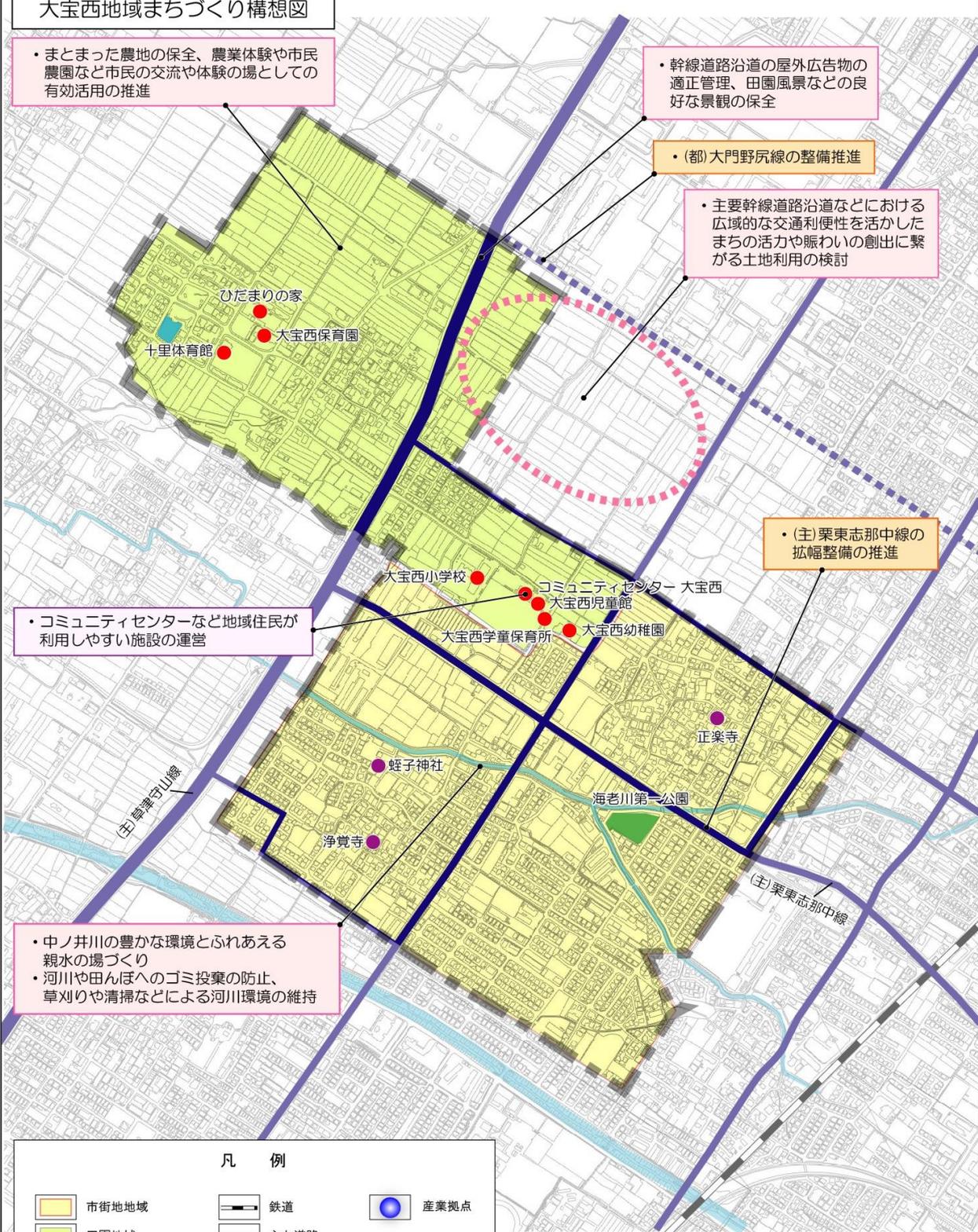
・(都)大門野尻線の整備推進

・主要幹線道路沿道などにおける広域的な交通利便性を活かしたまちの活力や賑わいの創出に繋がる土地利用の検討

・コミュニティセンターなど地域住民が利用しやすい施設の運営

・(主)栗東志那中線の拡幅整備の推進

・中ノ井川の豊かな環境とふれあえる親水の場づくり
 ・河川や田んぼへのゴミ投棄の防止、草刈りや清掃などによる河川環境の維持



凡 例

	市街地地域		鉄道		産業拠点
	田園地域		主な道路		
	森林地域(該当なし)		未整備道路		
	公共施設		河川		
	歴史資源		公園		
	自然資源		地区界		

